資料３

稲美町住民アンケート調査
これからのまちづくりに関する自由意見集

目　次

Ⅰ　自由意見件数一覧 1

１．住民アンケート調査 1

２．結婚・出産に関する調査 2

３．進路に関する調査 3

４．事業所調査 4

Ⅱ　具体的な自由意見（抜粋） 5

１．住民アンケート調査 5

２．結婚・出産に関する調査 37

３．進路に関する調査 46

４．事業所調査 51

Ⅰ　自由意見件数一覧

１．住民アンケート調査

・これからの稲美町のまちづくりに関する意見・要望について 1,512 人（26.7%）からの意見の概要は以下の通り。（複数意見のある人がいるため、件数の合計と回答者数は一致しない）

意見概要	件数
交通について（公共交通機関の充実、交通マナーの向上、高齢者の交通手段の確保など）	365
道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）	336
子育て支援の充実（保育所・幼稚園等の受け入れ拡充、各種サービスの充実など）	114
行政及び役場職員等への要望	90
雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、企業誘致に対する要望など）	78
環境・ごみについて（ごみ収集に関すること、野焼きに対する意見など）	74
商業施設等の充実（スーパー・コンビニ、大型施設等の要望）	70
自治会活動・地域活動について	69
公園・緑について（公園整備、公園の設備整備など）	66
アンケートについて	60
広報・情報について（住民への情報提供の充実、町外へのまちのＰＲなど）	55
市街化調整区域について（区分の見直し、住宅が建てられないことなどについての意見）	49
税金・自治会費について（税金が高い、自治会費が高いなど）	45
学校・教育について（学校設備への要望、教育の質の向上など）	45
高齢者福祉について	43
人口減少について	40
空き家・空き地対策について	40
医療について（医療機関の充実（特に小児科、産婦人科等）など）	39
自然・景観について	35
農業の振興について	32
その他施設について（公共施設に対する要望など）	25
農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）	24
土地利用・土地開発について	23
コロナ対策について	22
町長、町議会について	21
障がい福祉について	19
上下水道について	15
防災対策について	14
防犯対策について（カメラの設置など）	14
地域格差について（中心地のみが栄えている、といった意見）	13
地域活動・農業等の担い手について	12
周辺市町村との合併の要望	8
河川・ため池について	8
住民参加・住民協働について	7
住民同士の交流について	6
広域連携について	5
文化・芸術について	3
その他	82

２．結婚・出産に関する調査

・これからの稲美町のまちづくりに関する意見・要望について 202 人（27.6%）からの意見の概要は以下の通り。（複数意見のある人がいるため、件数の合計と回答者数は一致しない）

意見概要	件数
交通について（公共交通機関の充実、交通マナーの向上、高齢者の交通手段の確保など）	76
道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）	41
子育て支援の充実（保育所・幼稚園等の受け入れ拡充、各種サービスの充実など）	24
商業施設等の充実（スーパー・コンビニ、大型施設等の要望）	24
公園・緑について（公園整備、公園の設備整備など）	8
環境・ごみについて（ごみ収集に関すること、野焼きに対する意見など）	7
広報・情報について（住民への情報提供の充実、町外へのまちのＰＲなど）	7
雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、企業誘致に対する要望など）	6
自治会活動・地域活動について	6
アンケートについて	5
医療について（医療機関の充実（特に小児科、産婦人科等）など）	5
上下水道について	5
市街化調整区域について（区分の見直し、住宅が建てられないことなどについての意見）	4
学校・教育について（学校設備への要望、教育の質の向上など）	4
人口減少について	4
その他施設について（公共施設に対する要望など）	4
農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）	4
地域格差について（中心地のみが栄えている、といった意見）	4
住民参加・住民協働について	4
行政及び役場職員等への要望	3
税金・自治会費について（税金が高い、自治会費が高いなど）	3
高齢者福祉について	3
土地利用・土地開発について	3
コロナ対策について	3
文化・芸術について	3
農業の振興について	3
住民同士の交流について	2
空き家・空き地対策について	1
自然・景観について	1
町長、町議会について	1
障がい福祉について	1
防災対策について	1
防犯対策について（カメラの設置など）	1
周辺市町村との合併の要望	1
その他	12

３．進路に関する調査

・これからの稲美町のまちづくりに関する意見・要望について 65 人（29.0%）からの意見の概要は以下の通り。（複数意見のある人がいるため、件数の合計と回答者数は一致しない）

意見概要	件数
交通について（公共交通機関の充実、交通マナーの向上、高齢者の交通手段の確保など）	30
道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）	14
商業施設等の充実（スーパー・コンビニ、大型施設等の要望）	8
子育て支援の充実（保育所・幼稚園等の受け入れ拡充、各種サービスの充実など）	5
環境・ごみについて（ごみ収集に関すること、野焼きに対する意見など）	5
広報・情報について（住民への情報提供の充実、町外へのまちのＰＲなど）	4
公園・緑について（公園整備、公園の設備整備など）	3
農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）	3
行政及び役場職員等への要望	3
住民同士の交流について	3
雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、企業誘致に対する要望など）	2
医療について（医療機関の充実（特に小児科、産婦人科等）など）	2
その他施設について（公共施設に対する要望など）	2
地域格差について（中心地のみが栄えている、といった意見）	2
自治会活動・地域活動について	1
アンケートについて	1
学校・教育について（学校設備への要望、教育の質の向上、など）	1
人口減少について	1
高齢者福祉について	1
コロナ対策について	1
町長、町議会について	1
その他	4

４．事業所調査

・今後、稲美町において、産業を振興させ、働きやすい環境整備と雇用の創出を目指すために必要なことについて 63 事業所（25.3%）からの意見の概要は以下の通り。（複数意見のある事業所があるため、件数の合計と回答者数は一致しない）

意見概要	件数
道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）	12
土地利用・土地開発について	12
雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、企業誘致に対する要望など）	11
交通について（公共交通機関の充実など）	9
農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）	5
事業所への支援について（経済的支援、相談窓口の設置など）	5
ゴミ処理について	3
若者に対する支援について	3
教育について（学校教育の充実など）	2
住宅環境の整備について	2
アンケートについて	2
その他	9

Ⅱ　具体的な自由意見（抜粋）

※基本的には、記入いただいた意見をそのまま掲載しています。

１．住民アンケート調査

（１）交通について（公共交通機関の充実、交通マナーの向上、高齢者の交通手段の確保など）

性別	年代	意見内容
男性	20 歳代	公共交通機関をもっと整備してほしい。朝、晩の本数さえ増やしていただければ、稲美町の他市町への流出（人口）は減ると思います。そこが改善できれば問１３は「ずっと住み続けたい」になると思います。
女性	20 歳代	駅までの道路（土山駅）が狭すぎるのでいつも怖いです。バスも本数が少なくて困っています。街灯が少なく、夜は真っ暗で非常に怖いです。
男性	30 歳代	加古川市のかこバスや小野市のらんらんバスのようなバスがほしい。難しいかもですが一本は土山駅のようなＪＲへ。通勤・通学等にもっとバスを利用できたら良いと思います。駅に出るまでが不便なので特に子育て世帯・高齢世帯は大変だと思います。
女性	30 歳代	公共交通機関が不便過ぎる（バス停も稲美町の中心に寄っていて住宅地から遠い）。バス停まで歩いて行けない距離。まちづくりに若い世代の意見を取り入れてほしい（これからの稲美町を担っていく世代）。
女性	30 歳代	駅までが遠い。バス停までも遠いところがあるのでお年寄りや、足の不自由な人などには大変である。バス停を増やしてほしい。
男性	40 歳代	稲美町は住みやすい街だと思うが、公共交通機関（バスの本数少ない）や道路（県道）が狭いところが残念だと思う。働き盛りの若い世代や高齢者にとって、駅などの目的場所までの交通は非常に重要であり定住人口を増やすためには注力すべきところだと思う。小中、高校生が通いやすい歩道整備に特に力を入れてほしい。
男性	40 歳代	バス停を増やし本数（１時間に３～４）、土山駅、加古川駅、西神中央駅行きのルートと本数を増やして欲しい。駅を含んだ巡回バスを作ってはどうでしょうか。
女性	40 歳代	交通面は課題が多い。駅までのアクセス、町内でのアクセスにとても不便を感じます。限定的なものではなく、子どもも高齢者もみんなが使いやすいものを他の市町村を参考にもっと取り組んでほしい。
女性	40 歳代	バスの本数が少なすぎる。→車通勤→渋滞→本当はバスで通いたい。
男性	50 歳代	ＪＲ東加古川駅や土山駅へのアクセスが最大課題と思う。現状では、路線限定の数少ないバス、自家用車による送迎、自転車かバイクによるものが大半でとても不便。業務スーパーの本社移転もこの要因が一番と言われていて、今後このような事が拡大するかも知れず、町の衰退を加速させるかも知れない。我が家も十数年後には都市部へ引越することを考えている。稲美町を出る子ども達が、この交通不便が故に戻ってこない。また 70 歳を過ぎれば車の運転に自信が持てず、交通不便では仕方ない状況。自動運転の普及で解決ともいえるが、十数年後くらいでは疑問。ある程度の不便は覚悟の上だが、世帯構成や生活様式の変化で、少なくともう少しの交通アクセス改善は必須と思う。単に、交通アクセスのみを考えるのではなく、稲美町の観光（池が多く鳥が多い点）を組み合わせることで、利便性が上がるようにできるのではと考えます。
男性	50 歳代	稲美町はＪＲから非常に遠く通勤に不便な地域である。町の要望によって神姫バスの運営時間が延長されているが朝夕の通勤時間帯のバスの本数をもう少し増便するよう神姫バスに要望してほしい。どうしても、土山駅前が混雑することから、駅までバイク等を利用してしまうが、事故にあう機会が増えてしまう。もう少し増便されれば、バス通勤に変更することも考えることが可能となる。
女性	50 歳代	公共交通が乏しいため、高齢化して自家用車が活用できなくなった時には生活が困難となりそう。明石市の「タコバス」のようなシステムはできないだろうか。
女性	50 歳代	人口の流出を防ぐため企業誘致の推進に取り組んでいくべきだと思う。そのためビジネス用のインフラ、公共交通等、多様な通行環境の整備を進めていくべきだと思う。
女性	50 歳代	公共交通の便を改善してほしい。地域のバスを望みます。低料金で。福祉や医療等の無償化等を考え、若い人達に稲美町に住みたいと思ってもらう。子育て世代に。高齢者にもやさしい町作りを提案してほしい。
男性	60 歳代	公共交通機関を充実してほしい。土山駅、東加古川駅までのバスを低運賃で運行してほしい。便が現状少ない。町内だけの移動では活性化にならない。これからもこのようなアンケートを定期的に継続して実施してください。

性別	年代	意見内容
男性	60 歳代	町内には自転車が安心して走れる道が少ないです。公共交通機関が少ないので、自転車を利用する人は多いと思います。主要道路は道路幅が狭く、大型自動車も多く走っています。最近は池の周辺散歩道も、自転車の乗り入れも禁止されていて、自転車で町内を巡る楽しみもできません。環境にやさしく、エコな自転車でも町内を楽しめるようにして下さい。
男性	60 歳代	JR、バス利用の要所として土山駅が重要視されているが、「東加古川駅」発着バス路線を確保して、稲美町のもうひとつのアクセス要所として活用してほしい。土山駅より東加古川駅の方が利用者も多くなると思う。これに関し、パークアンドライドを検討してみませんか。例えば、南小校区のパーク（駐車場、割安区画設定）に車を置いて、東加古川駅までのバス路線（短距離、低賃金）利用→東加古川周辺駐車場を借りるより、安く上がるパークの周辺には商業ゾーンを設置して、買い物も便利な場所とし、広く一般の人が集まる場所とする。町外の人（加古川、八幡、三木、小野等交通不便な場所に住んでいる人）にも利用してもらい、稲美の地理的優位性、生活しやすさ等を知ってもらい、人口増のきっかけを作っていく。
女性	60 歳代	「あいのりいなみ」は使い勝手が悪いように思う、住民の要望とかみあっているのか疑問である。タクシーの補助券を充実していただければ十分である。神姫バスは小型のバスの運行で（時間帯にもよるかも）補助金額が減らせるのではないか、バス補助券は一括町からの支出と聞いたが、神姫バスにとって有利すぎるのではないか。出された要望を町民に公表してほしい。
女性	60 歳代	高齢者が増えて、車の運転ができなくなってきた時の対応を早い段階で考えてほしい。交通（公共）機関が整っていないので、買い物、通院等が心配である。誰もが利用しやすい利便性のあるミニバス等を運行する計画を立てて実行してください。料金は普通に取ってもいいと思います。
女性	60 歳代	高齢化が進んでゆくため、独居老人も増加し、一人でも住みやすい町づくりをお願いします。特に交通機関の充実が大事だと思います。
女性	60 歳代	時々バスに乗ります。これ以上増便というのは無理と分かっていますので、せめて減便しないでいただきたい。
男性	70 歳代	バス路線の拡充については、人口、予算の点から町のみで実現するのは難しいと思う。加古川播磨町更には明石市、三木市などとの広域行政で検討すべきではないですか。
男性	70 歳代	稲美町は広大な割に公共移動（輸送）手段が極めて少なく、老後自動車の運転ができなくなると買物すらできなくなる。タクシー券もあると思うが、より使い勝手の良い移動手段の提供をのぞみたい。
男性	70 歳代	医療機関との交通便を良くし利用してほしい。希望、母里地区より三木方面、加古川方面の交通機関を考えてほしい。
女性	70 歳代	稲美町はこれから増々超高齢化社会へ突入してゆく。便利で快適な町づくり、又徒歩や自転車でも行ける町全体の事を考えて欲しい。デマンドバス等を取り入れた老若男女が、皆で楽しく過ごせる町づくりに取り組んで欲しい。
女性	70 歳代	ＪＲ東加古川駅、土山駅の交通の便を考えてください。15 分に一本ぐらいのバスがあれば車の台数も減り、高齢者も車を手放すことができます。
女性	70 歳代	あいのりタクシーに賛同しますが同一家族複数になると、タクシーより高額になる。案内書（おすすめ理由）に齟齬がある。あいのりタクシーに乗る気が失せる。
女性	70 歳代	バス・タクシーの無料券を 70 才からにしてほしいです。
女性	70 歳代	核家族化が進む中、高齢者の一人暮らしが増え、買物・通院等、不自由している方が多々見られます。地域にもよりますが、デマンド型タクシーの成功を祈ります。
男性	80 歳以上	稲美町中心部から東加古川駅に直通する定期バス路線を早く実現してほしい。
男性	80 歳以上	住みよい稲美町にするには若い人がたくさん来る交通機関（土山駅まで）を良くする。
男性	80 歳以上	町内及び近隣市町との交通手段の向上を図ってほしい。
女性	80 歳以上	［土山駅までの巡回乗り物を通してほしい］町のあり方として住民が生活しやすいように考えて行くのが行政のあり方と思いますが、町議会でだめなら県議会でまとめて貰ってはどうですか。稲美町内だけで何とか生活できればよいのでは！それは一寸淋しいです。このままだとやっと持てた住まいも子どもは巣立ち、老いた自分も家を売り、便利な他町へ住み替えも他人事ではなくなります。町の人口は減りますね。
女性	80 歳以上	一人暮らしの高齢になると交通の便が悪く不便を感じます。町内の医療機関に行くにもタクシーを利用したりしますが近くだと拒否されているように思います。あいのりいなみがどのように利用できるかわかりませんが利用できるように期待しています。

（２）道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）

性別	年代	意見内容
男性	20 歳代	天満小学校の前の道路が狭いにもかかわらず、交通量が多い（中村－国岡）。頻繁にクラクションが鳴っているので、大きな事故が起こらないか心配だ。
女性	20 歳代	いなみ野水辺の里公園の前の県道辺り、何回も工事しすぎ。道がガタガタで通るのがすごく怖いし、何度も通行止めになるのが不便である。また、天満神社から国岡方面への道がすごく狭い。バス道であるのにあんなに狭いのは困る。歩行者や自転車通学者も通るので危険。できれば広くしていただきたい。
女性	20 歳代	側溝が塞がれておらず、歩道とは言えない道が沢山あり、危険だと思います。天満大池から六甲バターへ続く主要道路は車を運転する側も、自転車や歩行する側も両者にとって大変危険です。私は夜道で足元が見えず、側溝に落ちてケガをしたことがあります。高齢者や小さなお子さんがいる方など、歩く人にも優しい稲美町の道路を整備してほしいと強く望みます。
男性	30 歳代	町内を南北に走る幹線道路（県道 84 号線）の歩道整備を進めてもらいたい。沿道の立地条件もあると思うが、交通量が多いので歩行者通行が危ない。西側で二見、稲美、三木線の整備がされているが、早急に進めて南北の通行の便を良くしてもらいたい。
男性	30 歳代	道路の整備は最重要課題。特に狭い道路で車道と歩道が一体のところは、いつ大事故が起きてもおかしくない。稲美北中学校周辺から業務スーパーのあたり。車、自転車、中高生、小学生、高齢者が入り乱れて危険。特に横断歩道のないところを横切る中学生と高齢者は対策が必要である。また国岡４丁目の宅地開発で業者が勝手に道路を封鎖している。公共道路の専有は言語道断で指導してほしい。また街灯が暗すぎて役に立っていない。夜の歩行者や自転車は車から見えないし、防犯上も問題。
男性	30 歳代	道路が狭過ぎて危ない。早く天満大池バイパスを開通させてほしい。
女性	30 歳代	町内の車通りの多い道のほとんどに歩道がなかったり、あっても途中でなくなったりしている。通学路なのに通学時間帯にも関わらず大型ダンプが通ったり、路肩の白線が消えていたり、整備されていない（グリーンに塗られていない地区もある）。町内のすべての通学路（小・中）の安全確保をしてほしい。狭い道は時間帯で一方通行や大型車通行止め等の措置も必要だと思う。
女性	30 歳代	土山駅までの歩道など自転車で移動の多い学生たちのためにも安心できる道づくり。歩道がなさ過ぎ、危険過ぎる場所が多過ぎる。
女性	30 歳代	天満小学校周辺の道路、歩道が狭い所、無い所があり交通量も多い。とても危険なので整備してほしい。子どもたちの安全が最も大切だと思うので何とかしてほしい。
男性	40 歳代	道路をもっと整備してほしいです。稲美町は歩道が狭い、道幅が狭い場所ばかりです。交通量が昔と比べて非常に増えているので、どんどん整備していかないと子どもたちや高齢者は、安全に道を通行できません。
男性	40 歳代	とにかく悪路は役場に住人から話がくる前に、日々巡回や情報収集を行って、進んで整備していってほしい。新しい道を切り開いて広げていくのもよいが、今迄ある旧路の維持管理ができてこそ安全でよい町だと言えると思う。
女性	40 歳代	春と秋の稲美町の道路は、汚すぎる（トラクター等による田んぼの土）。車両１台分しかない道路を大型車が通る、路肩に近いほど凸凹が多く中央寄りに走りがちになる。天満地区は比較的早いスパンで道路整備が行われているが、母里・加古地区は何年も放置されたままが多く、車だけでなく子どもや高齢者も危険を感じることが多い。
女性	40 歳代	道路の整備について、子どもが安全に通学できる状況でない（歩道がない、道幅も狭く、トラックが多く行き交うのが危険）。子育て世代が暮らしやすいというのは重要だと思う。若い世代の人口割合が増加することは、税収も見込めるということであると思うので、取り組んでもらいたい。
女性	40 歳代	道幅が狭い道路の大型車両の通行を制限して欲しい。町道等の歩道の整備（街路樹、雑草が伸びたまま）。
女性	40 歳代	自転車が通るゾーンをつくってほしい。
男性	50 歳代	加古大池の信号から東播磨道に続く広い道の途中、かなり舗装が悪くなっている場所があります。早急に対策してほしいです。
男性	50 歳代	生活道路の整備、交通量が増えて、大型車両の通行等から安全を守るため、整備が必要だと判断されている道路の整理をお願いします。

性別	年代	意見内容
男性	50 歳代	民家の少ない地区に街灯が少ない、または全くない所がある。夜に安心して歩けるようにすべての場所に街灯を設置してほしい。同様にアスファルト（道路）の補修されていない所が多い、特に民家の少ない道路では穴が開いている所が多い。
女性	50 歳代	まず第一に道路を拡げていただきたいです。家が増えて、車の通りが数年前に比べて多くなっているように思います。国岡から天満大池までの道が狭くて難儀します。一筋東の新しい道は、途中で途切れていますし、今後はどうなるのでしょうか。
女性	50 歳代	高校生が自転車で学校にいく時、危険がないよう交差点は広くしてほしい。カーブの見通しを良くしてほしい。いなみの里前の大池の交差点をもう少し道幅を広くしてほしい（道がゆがんでいて、右折しにくい）車で右折しにくい。
女性	50 歳代	高齢者ドライバーが増えているので道路の白線等の整備を至急にお願いしたい。はみ出し等が目立ち危険である。
男性	60 歳代	県道、大久保、稲美、加古川線の道路規模に適していない。車両数、特に大型車両が増えており、現状にあった道路整備を望みます。鉄道の駅を稲美町内に誘致するには無理があると思う。であれば、より道路網を整備する事で、不便イメージを払拭することも可能かと思います。ただ道路を作ったら良いのではなく、老人、子どもも生活しやすいよう、工夫も必要になるかと思います。東播磨道ができて便利にはなったが、既道が以前のままでは危なく感じます。皆さん同様に思っていると思います。
男性	60 歳代	JR 駅に向かう道路の整備が整っていない。他の行政と調整し南北間の道路が何年たっても改善されていないので改善を希望する。稲美町内道路において安全な歩道が少ない。最近自転車の利用者が全国で増えている。しまなみ海道のように稲美町でも安全なサイクリングロードを作り、ロードレースなどを通じて全国から人を集める事を考えてみてはどうか。
男性	60 歳代	金守～向山～西和田の県農及び東播磨高校の通学路となる道路の拡幅を早期にお願いしたい。道路が狭いうえ、自転車の学生が両側を走るので非常に危険です。
女性	60 歳代	交通手段が自転車、自動車が主であるが、幹線道路に安全な歩道や自転車道が少ないので、早く整備してほしい。
女性	60 歳代	「稲美町は通り抜けの町」と言われ、幹線道路の整備がどんどんされています。しかし農道と呼ばれている道への通り抜けも増え、農道の傷みが目立ってきています。地域に住む住民にとっては、農道や生活道路の整備は不可欠と思われます。一度各自治会に問い合わせをし、調査し、整備を進めて欲しいです。
女性	60 歳代	生活道路を整備してほしい。
男性	70 歳代	町役場周辺の道路整備や商業施設の設置はほぼ終わったようだが、役場から離れた地域の路面舗装等の整備を早急にすべき。稲美町は道路計画が下手の声が多い。
男性	70 歳代	信号の無い交差点で一旦停止の表示を見やすく。学童の通学路を色付け明示する。事故の発生率が高い交差点に感知式タイプの信号設置。
男性	70 歳代	各集落の中の道路が狭い。袋小路になると、車の駐車があるので、集落を通り抜ける道路の整備の確保、防災面の充実をお願いしたい。
女性	70 歳代	稲美町は運送業が多いようで、コンテナ車や大型の車、トラックが道幅いっぱいに通る。県道 65 号線野谷道が荒れていてでこぼこ、車が通るたびに家まで響く。歩行者も安全に歩けるようにしてほしい。
女性	70 歳代	にじいろふぁーみんについては、町の特産品を発信する場として良かったと思います。ただ、車の来場は良いとしても、近隣の徒歩や自転車での来店者のために、天満大池の橋を渡るのはとても危険がいっぱいです。将来的に道路拡幅の際には、歩道を検討してほしいと思います。自転車も人も車椅子も通れる道がほしいです。
男性	80 歳以上	誰もが安心して利用できる生活道路網の整備と、公共交通手段をもっともっと検討整備を願います。
男性	80 歳以上	住宅地の中、救急車が通れるようにして欲しい。溝に土管を入れて広げる。
男性	80 歳以上	天満大池にかかる橋に歩道を設置してほしい。「にじいろふぁーみん」から橋にかかる道路がカーブになっているため、徒歩や自転車で通行する際に大変危険を感じます。
女性	80 歳以上	交通の便が悪く車の免許を返すと、稲美町を出て都会に住みなおす人が増えるのではないでしょうか。街灯が少なく、夜になると真っ暗な所が多い。
女性	80 歳以上	大型トラックの中継基地を減らす努力をしてほしい。早朝など交通量が少ない時に、コンテナを積んだトラックが高速度で滑らかでない路面を通行すると、すさまじい騒音が発生しますので、対策を講じてほしい。

（３）子育て支援の充実（保育所・幼稚園等の受け入れ拡充、各種サービスの充実など）

性別	年代	意見内容
男性	20 歳代	もっと子育てを支援してほしい。稲美町に住めば子育ての心配が軽減されるというくらいのイメージがほしい（明石市のような）。あと、緑豊かなこの地ならではの、ブランド品とか、名物、名所とかがあればもっと PR になるかもしれないです。僕も若い世代、子育て世代にあたりますが、出産、育児に対する若い人たち向けのサービスを充実させてほしいです。お願いします。
女性	20 歳代	子育て世代として、保育の充実を感じない。幼稚園の長期休暇等、預かり保育もないし、保育園も物足りない。昔ながらの生活感がいまだにある。
女性	20 歳代	保育園や幼稚園の数がもう少し増えると、選択の幅が広がり、いろんなことをその子に合った環境で学ばせてあげることができるように思います。
男性	30 歳代	隣の明石市は子育て世代において積極的に支援を実施している印象がある。人口の増加にもつながっているように感じる。今後稲美町の人口減少を緩やかにするには、子育て世代を重点的に支援する制度を積極的に増やしてもらいたい。
男性	30 歳代	子育てに優しい町であってほしいと願います。共働き夫婦が多い世の中になっています。安心して働ける事が充実した子育てにもつながると思います。精神的、体力的、金銭的様々な面で町がサポートして下さるともっともっと稲美町は、たくさんの人々が住みたい町になるのではないかと思います。これからも稲美町のまちづくりに期待しています！！
男性	30 歳代	保育所の増設、高齢者よりも子どもへお金をかけてほしい。
女性	30 歳代	幼、保連携の子ども園の設置。幼稚園の預かり保育の時間延長、長期休暇中の利用の拡充。学童保育の人数を充分確保。働く親が働きやすい環境を整備していく。子どもの数が少なく教室に余裕のある校区での宅地開発と、JR 駅へのバス路線誘致で人口増（子育て世帯が増えれば人口も税収も UP！）。
女性	30 歳代	保育所が少ないため、働きたくても働けなかったり時間的に制限があったりするのが残念である。他市の保育所に行かなければならなかったり、無認可の保育所へ行かざるを得ない人がたくさんいるのが残念です。稲美町を選んで住もうとしている若い人たちが安心して子育てできるようにしてほしい。
女性	30 歳代	一時保育がどこもできないので困る。少しの時間・期間でも、預けられる施設を増やしてほしい。幼稚園の３年保育もすべての幼稚園で実施してくれると助かります。
女性	30 歳代	人口を増やしたいのであれば、子育て支援にも力を入れるべきです。保育園に働きに行く人全てが満足に入れない。４月入園しかほぼできないのは他市町を見ても稲美町は、遅れています。今の保育園の数が少ない。いざ住もう（住んでも）としても、「保育園に入れなかった」とよく聞きます。「仕方がない」です。まず行政の在り方に疑問を感じます。学童保育についても長期休み８時から。仕事に行く人は８時からでは間に合いません。せめて、７時半からにしてもらえないのか。周りの話をきいているとそういう要望をしているのに、行政は動いてくれないことが多いです。働きに行く私達がいけないのかそういう風にとらえられてもいいようなことを言われたこともあります。
女性	30 歳代	子育て支援に注力し取り組んでくださっているのが、生活の中で実感できるほど届いている。しかし支援対象が妊娠～幼児期までの 5.6 年間に偏っているように思う。出生率が上がればいいのではない。小・中・高校にも目を広げてほしい。小中学校の校則は今の時代にそぐうものか、テストや教員の指導に不適切なものがあった場合どこに相談すれば良いのか。学校以外の相談先はあるのか。広報には楽しい行事の記事は載るが、辛い時に頼れる候補の案内もほしい。
女性	30 歳代	エアコンも整備されたので、幼稚園の長期休暇中の預かり保育の実施を検討していただきたいです。そうすると保育園の方の待機児童の解消にもつながると感じます。
女性	30 歳代	もっと子育て支援が充実すれば良いのにな、と思います。特に稲美町に実家がない家庭は一時預かりなど（保育園、幼稚園）利用できれば有難い。また、そういう情報もあまり伝わってこない。あと、気軽に助産師、栄養士、保健師さんと相談できる機会をもっと作ってほしい。実家が近くにない家庭にとっては子育てしにくい。
男性	40 歳代	老人中心の町。三木、小野を手本に子どもへの活動参考をしてはどうか。穏やかで住みやすい点を生かして、子育てが充実すれば、もっと子どもが増える。若い世代は集まるのにもったいない。

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	子育て支援を充実してほしい。
女性	40 歳代	出産・育児・子育て(幼児期)の支援は少しずつ良くなっていると思いますが、中高生の子ども達に対する支援がすっぱり抜け落ちているように思います。若い世代に定住してもらうなら、中高生が自分達で考えて創り上げていく活動を支える場の提供を考えていただけないでしょうか(自由な学習スペース、趣味の活動、サークル活動などができる場)。
女性	40 歳代	明石市みたいに若い世代がどんどん来て地域を活性化してほしい。子育て世代がこれからの稲美には重要だと思う。神戸、姫路からそんなに遠くなく、緑豊かな稲美、土地も神戸に比べると安いので、明石よりも先手を打つような対策を取れば、若い世代が増えると思う。まずは中学生給食の無償化。
男性	50 歳代	税収を増やすには働き世代・子育て世代に定住化してもらう。例、子どもの医療費の無償化または半額負担等の施策。共働き世帯が増えているので学童の充実。
女性	50 歳代	安心して出産、子育てできるまちづくりをお願いしたいです。
女性	50 歳代	母子家庭において、大学生への給付型就学支援金があれば、もっと進学に対して選択の幅が広がるかと思います。
女性	50 歳代	希望する保育園に入園させて欲しい。
男性	60 歳代	子どもに優しいまちづくりを目指してください。母親への手厚いサポートを行い、虐待やネグレクトを阻止し、子どもが子どもらしくのびのびと育つ環境を作ってください。子ども同士の虐待やいじめ、不登校対策、待機児童問題、貧困児童支援、学童保育支援を合わせてお願いします。
女性	60 歳代	人口を増やそうとすると若い人が定着してくれて、安心して子どもを産み育てる事が一番。そのための医療や共働きのための預かり保育、医療費 15 才まで無料など負担を少なくする事が一番かなと思います。
男性	70 歳代	子どもが少ないのに、地区の保育園や幼稚園に入れないのはおかしい。
男性	70 歳代	高齢者関連の施策は、現状程度で良いと考えます。今後は子ども、若年層を重点的に実施するほうが、今後 20 年、30 年先に稲美町が存続できると考えます。
女性	70 歳代	若者が住みやすい町になるよう、子育て支援をして、年齢の若返りが必要だと思います。
男性	80 歳以上	人口減対策として、若い人（特に女性）が当町に移住したくなる政策。例、住宅取得に対する支援、出産、育児に対する経済的支援。基本的に若い女性が増えて、子どもを安心に産める環境。少し違うように思うが明石市の施策が一つの参考になる。

（４）行政及び役場職員等への要望

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	意見を出しても、なかなか行動してもらえる様子がなく、行政に不満。意見を言ってほしいと求めるなら何か１つでも動こうとしてもらいたい。
男性	40 歳代	町ホームページのレベルが低い（各課ごとに SNS で発信を)。
男性	40 歳代	当たり障りのない施策より他の地域にない施策をして欲しい。町民に行政の情報を調べさすよりも、もっと積極的に発信して、施策に対して進捗を示して欲しい（誰が見ても理解しやすく)。どのようなまちづくりを掲げているのか印象に残らない。多分野においてデジタル化の推進をお願いします。
女性	40 歳代	役場内の身内ばかりで人材を集めたり話し合うのではなく、たくさんの外部の一流の意見を取り入れて新しい考えを持たなければ、根本から変わる事はできないのではないかと思います。ぜひ頑張って頂きたいです。応援しています。
女性	40 歳代	どんな施策であっても「満足」することはないと思います。感染症や自然災害があっても守ってもらえるという安心感が必要です。それは日々の行政の積み重ねだと思います。特に今回のコロナ禍では稲美町の行政、町長の働きについて改めて見直す、見つめる機会となりました。地元愛は薄れている状況ですが、住みたい町であるかどうかで愛着が生まれるのではと考えます。子どもに関する施策とともに高齢者についても重きを置いていただきたい。良いと思うことは施策でどんどんチャレンジしていただき、その都度住民投票などで判断してゆく柔軟な町政を期待します。

性別	年代	意見内容
男性	50 歳代	どうやっていきたいのかを町民にもっとアピールしてその反応をフィードバックした施策を打ち出すべき。そのフィードバックをもとに、次の施策を考えて打ち出す。また、フィードバックをもらう。その繰り返しをもっと積極的に回すようにして声を反映するようにしてほしい。失敗を恐れずにこれを行えばよいと思う。
男性	50 歳代	警察、消防、病院他、加古川市に委託している現状で、稲美町のまちづくりが可能とは思えません。既得権を守る事に力を注ぐのではなく、本当に現状の稲美町について考える必要があるのではないでしょうか。
男性	50 歳代	特定の地域のみの人口増加ではなく稲美町全体の人口増加(若い世代)が必要。町外の人の稲美町のイメージは「何もない田舎」「池と田畑しかない町」と言われます。田舎暮らしに憧れている人も中途半端な田舎でしかなく、転入も難しいでしょう。都会でもなく田舎でもない中途半端な町のイメージをもたれているようです。明石市長のような思い切った行政施策でこれからも住み続けたくなるまちづくりを期待します。
女性	50 歳代	施策全般については他市町村にならえ的な物で稲美町としての独自の考えや施策がなされていない。稲美町の福祉に優しいまちづくりのスタンスはどこに消えたのか。
女性	50 歳代	町民の声をもっと行政で反映してほしい。よく聞くのが検討しますという言葉。直ちに調査して、報告するように動く町政になるよう心掛けてほしい。検討＝怠慢ですよ。
男性	60 歳代	その時その時で何が一番必要かを考えて、手立てを講じてほしい。『公助』とは何か、『地方行政』とは何か。どちらも地域住民の暮らしの向上が第一である。そのことを念頭に、政策を立て、実行してほしい。
男性	60 歳代	まちがフロントランナーになる道標が感じられない。町行政が進展しているのを見える化し、住民と共有できないか。
男性	60 歳代	行政がうまく町民の力を利用して、行政ができないところを補い、より良い町づくりができたらいいと思います。そして、町独自の地域づくりを目指してください。
女性	60 歳代	稲美町の行政（公務員）と民間人との職務および常識の認識が大幅に乖離しているように思う。公職を任っている責任を感じ、職務にあたってほしい!税金で働いているということ。
女性	60 歳代	行政の窓口で、福祉事業の説明が不満。命につながる窓口なので経験ある職員が解かりやすく説明してもらえるように職員増も考えてほしい。高齢になっても障害があっても安心して暮らせる町に必要なサービスが受けられるように。
男性	70 歳代	各地区の意見を吸収して、全体のバランスを図るように施策を検討させてほしい。地区と役場幹部の交流もなく、役場の施策に共鳴しにくい。
男性	70 歳代	施策、問題解決のための町としての考え方が不明。合格点を取るための「答え」しか返ってこないことに不満。全国的な共通項目への対応はできていると思うが、一つ一つの問題、課題に対しての独自の考え方が見えない。町長の考え方が広報を見ても不明。周りの市町を見ての対応が多いと思う。町職員を動員している行動が多く検討すべき事業が多いのではないか、もっと職員を休ませる必要があると思う。休日勤務を減らすことで施策への良い発想が期待できるのではないか。
男性	70 歳代	施策を実現するためには、人物、金、情報等が必要だと思う。特に財源をどのように確保するのか考えを聞かせて欲しい。
男性	70 歳代	他市町と比較して職員の対応、動きが遅く、将来を見越した財政の投入もない。
男性	70 歳代	言われて動くより職員が見て考えて行動すべきである。同様に町職員も町内を自分の目で見て廻るべきである。
男性	70 歳代	町の行政、施策が近隣の市、町と歩調を合わせる内容が多い。町独自でも良い施策は積極的に取り組んでください。
男性	80 歳以上	町の行政のマンネリ化を打破する方策を打ち出す事が大切（次の世代に向けて）。
女性	80 歳以上	役場の人が親切で言葉使いも優しいので感心させられています。これからもそうあってほしい。

（５）雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、企業誘致に対する要望など）

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	税収の面では企業の誘致は必至であると思います。
男性	40 歳代	大手企業の事業所の移転等に伴い、財政運営が心配。稲美町の立地の特性を活かした企業誘致を積極的に行っていただきたい。
女性	40 歳代	土地柄的に特筆する程の個性を感じない。村独特の閉鎖的な空気が変わらない限り、新たな産業等を誘致するのは無理では？
女性	40 歳代	パソナが淡路に移転したように、稲美町にも大企業が移転してきたら町が活性化すると思う。車さえあれば稲美町も神戸や大阪などにもスムーズに行ける。
男性	50 歳代	周辺都市からも稲美町に行きたいと思えるような商業施設導入・娯楽施設導入。企業誘致による子ども、高齢者だれでも興味をもって工場見学等ができる体制づくり。
男性	50 歳代	稲美町は播磨町に比べると工場等がないので企業からの税収が少ない。企業誘致を進めるべきだと思う。現在、東播磨自動車道が建設中であるが、全線完成時期に合わせて IC 付近に物流拠点(運送会社物流センター等)を誘致する。広大な田畑があるので買上げて整備する。米のブランド化、無農薬米の推進で他米との差別化。
男性	50 歳代	雇用の充実、若者が住みたい町にしなければ、今後はなしと思います。まず、県道 65 号まわりなど農地転用許可により、多くの企業、店舗などを出店させ、雇用の充実、稲美町外からの通行客など集客が課題です。
男性	50 歳代	人口増加が見込めない現状、大企業・工場を誘致し、税収をアップしないと豊かなまちづくりはない。
女性	50 歳代	高齢者にはやさしい町であるが、若い世代の人が定住できるよう、環境、施設等を整えてほしい。農業ばかりでなく、企業誘致にも力を入れてほしい。
女性	50 歳代	企業誘致にもっと力を入れるべきです。ＱＢＢの工場も移転してしまい、財政面は大丈夫でしょうか。播磨町にくらべ企業は少ないのでは？農業だけに力を入れるのは昔の事です。人が集まるようにしないと人口は増えませんし、収入を考えないと町がすたれます。加古川は病院や研究所を誘致して開発していっていますが、稲美町は稲の美しい町である事に固執し、使わないような土地を売る事もできず、大きい病院を誘致したり企業に工場を建ててもらうなどもっと活性すべきだと思います。
女性	50 歳代	若い人たちも働ける場ができるように雇用を増やしてほしい。働く場がないので、都市部に出てしまう。もっと企業ができ、買い物できる店も増やしてほしい。
男性	60 歳代	あらゆる年齢（高齢者も）の雇用、作業の場を増やす。労働人口が増える対策が必要。
男性	60 歳代	町内に雇用を造成する企業等の誘致を活発に行い、若い世代の町外への流出を止める施策の推進が急務である。
男性	60 歳代	稲美町の地域活性化が重要と思われるので、そのための施策に取り組んでいただきたい。例えば、規模の大きな魅力的な企業誘致も一つの施策であり、雇用が増加し、転入者も増えることで地域がにぎわい、地域経済も振興し、町の税収増加も生じる。
女性	60 歳代	大企業の移転が続いていますが、地元の小さな企業が元気になる、仕事の確保ができる政策も考えていただきたいと思います。
女性	60 歳代	転入者のある場合、労働に雇用される場が少ない。働き場がない。
男性	70 歳代	企業が少ないので誘致活動をもっと積極的に。若い人の流出を防ぐため、地元に企業を。雇用を確保。
男性	70 歳代	コロナ禍で在宅勤務が普及し、IT 系企業ではリゾート地にサテライトオフィスを設け満員電車で通勤する必要が無い勤務形態も見られるようになった。取引先とパソコンを通じてオンラインでやり取りができる営業部門とか人事部門は都会に比べて賃料、固定資産税が割安な地方への移動が見込まれる。IT 系の企業誘致を行ったらどうか。
男性	70 歳代	工業団地を作り、工業を誘致し人口を増やす。
男性	70 歳代	若い人が住めるよう、雇用対策、企業を呼び込んでください。企業が離れていくようなことは防止してください。企業が魅力ある町づくりを！
女性	70 歳代	若い人たち（若い夫婦）が働ける職場が不足しているように感じています。安心して定年まで働ける大手の会社が１社でもあれば他県に就職しなくてもいいのでは。働く場所が少ない。気分的には過疎化した街に感じる。
女性	80 歳以上	風水害の少ない住みやすい町の反面、交通便が悪く、働く場が少ない。若い人も他の市に職を求めざるを得ない。

（６）環境・ごみについて（ごみ収集に関すること、野焼きに対する意見など）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	新しく転居してきた子育て世代にはずっと住まれている方のルールがやや不満です。町の方でゴミ袋は燃えるゴミは黒以外は良し。となっているのに透明な袋に入れて出すと青い袋に入れかえろと家の前にあったり、町と住民とで認識の違いがあります。
男性	30 歳代	ゴミ回収について、最寄りのゴミステーションの回収曜日が町のホームページ等に記載してあるものと異なっている（ビン、カン）なぜ同じ町内で表記に相違があるのか、町内全体で再度調査訂正をしてもらいたい。
女性	30 歳代	道路に面しているゴミステーションに通りすがりの人がゴミを捨てていって不衛生、収集車がもっていってくれない。当番の住民が持って帰るハメになってたいへん。
女性	30 歳代	ごみステーションの時間を夏も８時までにしてほしい。ビンや缶のごみは敬老会で集めてくれているがプライバシーが気になる。
女性	30 歳代	野焼きや近隣住民のタバコによる煙害がひどい。何度か役場に相談したが「洗濯物は家の中で干して下さい」との回答だけで全く改善しなかった。野焼きはひどい時は稲美町広域にわたり臭いが発生しているのに、職員の方は何も感じないのか。タバコも火がついたまま溝に捨てられているのでいつ火事が起こるか不安で仕方ありません。医療体制より普段の健康被害をまず解決してほしいです。よろしくお願いします。
男性	40 歳代	ごみのポイ捨てが多い。吸い殻のごみや路上喫煙もまだ見られる。分煙が守られていないと感じる場面が多い。子どもがいる横で喫煙は今や世界的にも遅れていると感じる。子どもが安心してというのであれば大切なことだと思う。街全体でごみや環境に対する教育が必要と思われる。子どもは稲美町の宝です。子どもの教育を通して親や大人への教育につながればと思う。
女性	40 歳代	好きな時間にゴミを燃やす人が多く洗濯物ににおいが付き、困ります。仕事に行っている間に燃やしているので、洗濯物を外に干せません。稲美町内、様々な所で燃やしているのを減らしてほしいです。
男性	50 歳代	空き瓶とスプレー缶を回収する場所を役場に作ってほしい。※時間と日にちが決まっていてその日に持って行けないため。
女性	50 歳代	ゴミ軽減とよく広報にも載っているが行政から配られるゴミ分別の一覧が１枚となっていると分別がわかりにくい。一覧の項目には今となっては家庭から出ることのないような品物が書いてあったりして、見直してもう少し細かくしてほしい。冊子にしてある市町村もあるようです。ガラス瓶や電池、スプレー缶を回収する場所がなぜ通常のゴミ収集場所と違うのでしょうか。車で行く収集場所なんておかしいと思う。通常の生ゴミ、プラゴミの場所ではいけないのでしょうか。とても不便です。
女性	50 歳代	ゴミ袋へ記名をして出すのは、プライバシーの問題もあるのではないか。わざわざ記名する事で、その家庭のごみ、中身が特定できてしまいます。
男性	60 歳代	田園風景が身近にあり、良い住居環境にあると思うが、農薬の散布や稲わら焼きの際に、農薬や煙が突然家の中に充満することに不満、不安を感じる。
男性	60 歳代	「クリーンキャンペーン」に年３回ほど参加させていただいているが、相変わらずゴミのポイ捨てが多いと思う。せっかく公園か道路を整備しても使用者のマナーが悪ければお金ばかりかかることになる。町内見守り隊等の人たちの協力でゴミステーション（不法)、見かけたら通報できるようにビラを使って強く警告したらどうでしょうか。自分で出したゴミ、自分で処置してください。
男性	60 歳代	もっとリサイクルをしてほしい。資源は限られています。
女性	60 歳代	ゴミの集積場が遠い。できれば名古屋のように家の前に出しておけば集めてくれるのが理想です。畑のゴミ、家のゴミを自分で焼く人が多数いて煙がすごく来る時がある。臭いも凄いので洗濯物に匂いがついてもう一度洗濯しなければならない。町で厳しく注意してほしい。本当に嫌だ。
男性	70 歳代	田畑での野焼きを禁止してもらいたい。田の中では問題ないが、住宅から 100m 以内では火災、煙害の危険性あり。罰則規定が必要。
女性	70 歳代	アパート、マンションにごみ集積所がないのがなぜかわからない。どうしてごみ置場を作らなくていいのか？
女性	70 歳代	地域のごみ集積所へ出すのですが、若い人ほど、区別されずに出されています。自治会にポストがほしいです。

（７）商業施設等の充実（スーパー・コンビニ、大型施設等の要望）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	コンビニが国岡中心に多いので、規模を町内全域まで拡張してほしい。
女性	20 歳代	町内に赤ちゃん用品専門のお店がほしい。
女性	20 歳代	稲美町にも宅配のレストランができるといいです。マック、かつやなど、ラムーとか、H&M とかも近くにあるといいです。
女性	30 歳代	もっと買物できる施設や娯楽施設を増やしてほしい。
女性	30 歳代	とにかく買物が不便。一か所で全てがそろうような大型の商業施設を誘致（若い世代の定住を考えるなら若い世代が来たくなるような魅力的な施設や福祉を考えるべき）
女性	30 歳代	免許がなくなった時に買いものに困るので少し不安。歩いて行ける近くのスーパーなど作ってほしい。
女性	30 歳代	少し買い物、外食しようか・・・となると稲美にはお店が少なく、加古川市にでることが多いです。稲美が好きなので、少しお店が増えるとありがたいなと感じます。
男性	40 歳代	高齢者も増加していく中、商店（スーパー）などを多く有れば必要と考えます。生活し易さが、多くの人を集める理由にもつながる。
男性	40 歳代	天満校区だけではなく加古校区にも商業施設を建設してほしい。買物がしにくい。
男性	40 歳代	母里に商店（スーパーなど）がなく、天満のように充実させてほしい。
女性	40 歳代	本屋さんやＣＤショップなど、他の市町へ出ないといけないのは若い年齢層が定住できない原因にもつながります。
女性	40 歳代	スーパーなどが一部の地点に集中している。天満小学校の近くにコンビニを作って欲しい。
男性	50 歳代	稲美町に本屋を誘致してもらいたい。以前は現キリン堂の場所に本屋があり便利であった。本屋ができたら稲美町内ですべての用が満足できる。
女性	50 歳代	商業施設が少なく交通の便も悪い。これでは、若者がみんな出ていってしまい、老人ばかりになってしまう。若い世代がとどまり新しく稲美町に住んでもらう事を考えないと、人口がどんどん減ってしまって今に老人しか住んでいない町になってしまうと思う。
女性	50 歳代	普段の買い物は困りませんが、文房具や雑貨など食品以外の買い物は、少し遠くまで行かなければならず不便です。学校で使うノートでさえ困ったことがありました。中型～大型の商業施設があればいいと思います。
男性	60 歳代	稲美町には宿泊場所がなく、豊かな自然をじっくり見てもらえる場所・時間がない。インバウンドも受け入れられるような街づくりが必要ではないか。
女性	60 歳代	交通が便利であること。町内で買い物ができ、外食等もできる。子育て支援（明石市は充実していて人口が増えているといっている）、お水がおいしい（最近は少しカルキの臭いがする）。
女性	60 歳代	お店を増やして欲しいのと、できたらいろんな税金を安くして住みよい稲美町にして欲しいです。
男性	70 歳代	母里地区には生活に最低必要な医院、スーパーマーケットなど何もない。あるのは JA 金融だけである。生活の足である車も乗る回数が減り、乗れなくなると思うと不安でいっぱいである。体も思うように動かなくなってくる。もっと母里地区に目を向けて考えてほしい（母里地区の実態を把握した施策をお願いしたい）。
女性	70 歳代	近くにお店がないので買い物等大変不便を感じています。食品やちょっとした日用品用のお店があればよいと常々思います。
女性	70 歳代	母里地区にはガソリンスタンドがないので、不便です。店舗スーパーが１つもないので不便です。
男性	80 歳以上	大池から南方の道路はいつにできるのか。天満神社から生活道路に早くしてもらいたい。六甲バター跡地は、大手のスーパーでも来てもらいたい。
女性	80 歳以上	商業施設、公共施設が充実しているところとそうでない所の差があると思う。ネットスーパーや宅配サービスなどを利用できる人、必要な時にすぐ行ってくれる身内等がいればいいがそうでない人もいる。そうでない人たちのために近所に歩いてでも行けるコンビニや小さなスーパーでもあれば良いな、と思う。
女性	80 歳以上	相の山に小さな店屋が１軒欲しい。

（８）自治会活動・地域活動について

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	自治会の人手が減っていくのが見えているので、自治会行事の支援を行って頂きたいです。溝掃除など→現状人手は足りていますが、５年、10 年後減っていくのが見えています(高齢化)。
男性	30 歳代	消防団や PTA 活動の内容簡素化をして共働き世帯の参加負担を減らしてほしい。
女性	30 歳代	回覧や配布物が多い。隣保長や自治会の仕事が多い。公会堂のそうじ以外に神様をまつるための仕事が多い。どうにかして欲しい（天満南地区)。子育て世帯にはキツイ。
女性	30 歳代	祭りや役員など、自治会における参加を求められますが、親の援助が得られない中、夜に会合に参加することや、有休を使用し祭りへ参加しなければならず、負担です。伝統を受け継ぐことも重要ではありますが、若い世代の声を反映して頂けるような柔軟性と多様性があればと願います。
女性	30 歳代	高額過ぎる自治会費。祭りの花代（酒代）回収は、今の時代無駄です。入村費だとか、花代だとか、使い道が不明で払った人にとって何の利益も生みませんし、そのような無駄に人の時間と人のお金を使うような古い村意識は、なくすべきです。
男性	40 歳代	自治会にもよりますが、月に１回の活動の強制など、自治会員の負担が重くて困っている、という声をよく聞きます。皆と協力して生活することも大事ですが、各自自立して生活できるよう、援助してくれたら幸いです。
女性	40 歳代	消防団はやめるべき。完全に自治会の力仕事要因でメリットなし。今の消防団は地の人はほとんどいない（他市から来た人ばかり)。地の（地主の）子どももめんどくさいと入りたがらないのはいかがなものか。消防団を存続させたいのであれば、もっとメリットを享受できるようにするか、強制的に入るように制度を作るべきと思います。完全にタダ働きでメリットなしです。入った人が損をする制度は廃止すべきです。
女性	40 歳代	とにかく自治会、こども会、ＰＴＡ等の行事や役割が多すぎる。共働き家庭には負担が大きすぎる。時代に合った形に縮小して欲しい。夜に子どもだけで留守番させてまで会に出席、おかしくないか？この現状を変えるよう、町から方向性を提言して欲しい。
女性	40 歳代	都会から稲美町に引っ越しをして来ましたが、お祭りや消防、清掃、回覧板、会費・・・都会ではないものばかりで、それが負担になるように思います。若い方にもっと住み良い町づくりを提案するには、そのような昔からのものを減らすべきだと思います。守りゆくものも分かりますが、世代交代、引き継ぎを考えるなら、ある程度専門の方にまかせる所はまかせて、(お金を払って) 各家庭の負担を減らすことが大切だと思います。負担を減らさないと住み良い町にはならないと思います。
女性	40 歳代	新しく来られた方達は自治会に入らずゴミステーションは利用されるが掃除もしなく出し方もルールを守らない。すごく不公平である。自治会の方も高齢の方が多く、役員免除になり役員が５年に１度まわってくるし、大きな役をあたえられる。仕事、子育てにすごく負担である。だから自治会をぬける方が多く残った役員が大変である。町の方でも自治会のあり方を考えてほしい。
男性	50 歳代	地域によって異なるが、自治会活動が多すぎる(草刈りなどは、自治会ではなく、町や県が行うべき作業である)。
男性	50 歳代	古いしきたりや慣習等によって新たな住民が入ってきにくい状況も散見される。農家ではない家庭も地域に住んでいるからと溝掃除等に出ないといけないとか、総会などの会議体でも高齢者が中心となって仕切っており、何の変化も期待できない状況がある。世代交代を推進する必要がある。新たな血と新たな住民を迎え入れられる空気がまるでない。老害が蔓延している状況、組織で発展は望めないと感じている。
男性	50 歳代	毎年、隣保の会長さん選出に苦労している。隣保の各役員の種類も多すぎるので縮小、簡素化するべきです。
女性	50 歳代	古いしきたりが根強く、自治会のあり方にも疑問に思うことが多々あります。自治会は必要でしょうか？新しい集会所など必要なのでしょうか？若い世代の方が増えてきて、そういう自治会は負担でしかないように思います。
女性	50 歳代	最近、ある地区では自治会から脱会する方がいました。人と人との関係がこれ以上崩れてほしくありません。

性別	年代	意見内容
女性	50 歳代	自治会をなくす。こんなうっとうしい自治会いらない。若い人、新しい世帯には無理です。″強制ではない″とか口だけ。30 年前の神戸みたい！時代に乗り遅れている。田舎過ぎてびっくりします。考え方も何もかも。
男性	60 歳代	私の自治会内には街の社会教育（生涯教育）委員さんは不在です。自治会内の生涯学習委員さんは役員として役職はありますが自治会長とまちづくりについて懇談するような機会が殆どありません。街の社会（生涯）教育委員さんを核にした活力あるまちづくり、組織づくりがほしいと思います。
男性	60 歳代	若い人との交流の場がなく、人間関係が希薄になっている。高齢者のウエイトが高く、自治会内での交流の場があり、参加者の間での交流は進んでいるが、参加する人、しない人との格差が大きく、今後の人間関係づくり、交流の機会づくり、健康、生活の不安等、いろんな問題があるので自治会、近隣者、行政の考えること、実施すること、多方面にわたると思います。行政の協力をよろしくお願いします。
男性	60 歳代	自治会（地区）の再編成を望む。小規模な自治会のため、何年も役員を続けている。
女性	60 歳代	稲美町（国岡）に住んでみて一年目で役員に当たり、わからないまま、言われるまま、やってきましたがなんと行事が多い事。なんと役員会が多い（月１回は全体にありました)。ひどい時には月２～３回ありました。愛宕神社、天満神社、夏祭り、その都度、役員会そして接待、もううんざりでした。そうした中で上部委員の人たちの行動が目にあまるものもありました。最後に自治会を辞める事はできるのでしょうか。何故ならば自治会費の高いこと、高齢になりしんどいです。
女性	60 歳代	ボランティアに頼りすぎ。そのボランティアの人たちに振り回されている。コロナはそういうことを明らかにしてくれた。
女性	60 歳代	最近自治会を脱退する人が増えています。町としても新しく稲美町に住む人にも自治会に入るようにすすめてほしい。自由ですと言うような事を言わないで下さい。自治会に入る事でのメリットを宣伝してほしいです。
男性	70 歳代	町主催の行事等が他に比べて少ない。住民全体で行う行事がない。特色ある行政が行われていない。寂しい。人口減少対策がなされていない。有効な手をうたないと減少してしまう。特に天満以外の地区で！
男性	70 歳代	高齢者が多く、自治会や老人会の役を受ける人が少なく、これからの自治会、老人会の行事など運営が難しくなるのが心配です。
女性	70 歳代	地区によって年を老いた人が増えています。自治会の活動の参加も少なくなってきています。今後の事を考えると不安な思いです。稲美町は、古民家や空き家が多いと聞きます。若い人が少しでも住むようＰＲや情報を知れる事をお願いしたいです。
女性	70 歳代	自治会の役員ができなくなる人が増えて困っています。後何年したら当番が回ってくるかと思い憂鬱です。町の方でも自治会の担い手の育成など考えてもらいたいです。
女性	70 歳代	自治会に入らない人が多くなってきているので、役場に転入に来られた方に自治会に入るように言っていただきたい。ごみ問題にもかかわる。
女性	80 歳以上	ひとり暮らしの高齢者が増え順番で回ってくる隣保長の役目がどうしてもできない人の悩みを町として考えられたことはありますか。隣保長会議又いろいろな行事にも参加できない人でも自治会の方では隣保できめて下さいとの言葉がかえってくるそうです。自治会に入らなかったらと考える人も多くいるようです。地域で隣保長の役目ができなくても気持ちよく住めるような稲美町であってほしいと思います。隣保だけで決めるのはいろいろ苦情があるようで住みづらいと思います。稲美町としても又自治会としてもできない理由、認めるような書類でも作ってもらうことはできると思いますが一日も早く考えてほしいと思います。隣保でどうするかと云うよりも町として自治会としてきめていただいた方が気まずい思いをみんながしなくてよいのではと思いますが。
性別不明	年齢不明	村ごとにいろんなイベントがありますが、私の自治会は若い人ばかりに集中して 70 歳以上の人たちにはあまり恩恵がありません。私たちは自治会費を払っているわけです。よその地域は年寄りにも割合目が届いているようです。私たちは稲美町のメインの中にあります 400 人くらいの自治会です。大変不満を持っています。今はコロナでどうにもなりませんが。

（9）公園・緑について（公園整備、公園の設備整備など）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	稲美中央公園をどうにかしてほしいです。小さい子が遊ぶには危険が多いと思います。遊具も 20 年以上変わっていません。子どもがあまり行きたがらないし、遊びに行く所が少ない。市民プールみたいなものもあれば…。
男性	30 歳代	昔からある公園が老朽化しているところを補修して頂きたい。地域の公園グランドル遊具を作ってほしい。
女性	30 歳代	稲美中央公園や天満大池公園など、ある程度利用者の多い施設について、もう少し整備をしてほしい（遊具などの劣化が気になる）。
女性	30 歳代	公園には健康遊具とかがあって、老若それぞれの使い方ができれば、多世代交流の場になるかも。せめて、稲美町で育った子どもたちが、大人になっても稲美町で子育てしたい、と帰ってきてくれる町であってほしいです。
女性	30 歳代	子どもの遊ぶ近所の公園の遊具が少な過ぎると思います。滑り台、鉄棒のみでは、とても長時間遊べない。稲美中央公園や天満大池公園まで行けばたくさんあるが、やはり徒歩で行ける所にもう少し遊具が増えれば、活性化すると思います。
女性	30 歳代	未就学児が遊ぶ場(公園や施設)が少なく、親同士の交流の場がもっとほしい。
女性	30 歳代	小さい子どもを遊ばせるのにちょうどよい公園が、歩いて行ける範囲になかなかない。
男性	40 歳代	子どもたちが楽しく遊べるような大きな遊戯施設をつくってほしいです(みきっこランド三木山総合公園のような所)。稲美町は外で遊べる場所が少な過ぎます。
男性	40 歳代	公園の数は確保されているが、遊具が少ない上にありふれたものしかなく、老人のグランドゴルフを主として開発されているイメージがあります。アスレチックや、ボルタリング等子ども達がワクワクできるような施地内の活用をして頂きたいです。
女性	40 歳代	公園をもっと整備してほしい。天満東小校区ですが、中央公園は古いように見える。リニューアルしてほしい。三木市の三木っ子ランドや明石市大久保の石ヶ谷公園の遊具のような新しい形にしてほしい。また、国安のグラウンド（土地区画整理のところ）も広い土地を無駄にしている。もっと子どものために有効活用するべき。
女性	40 歳代	近くの公園には、子どもが遊べるような遊具が殆ど無く、安全とも言えない。公園整備を充実して欲しい。
女性	40 歳代	子どもが公園でボール遊び（練習）をしているとよく老人に怒られる事があるようです。グラウンドゴルフのため、地面を整備しているからのようなのですが、子ども達が自由に遊んだり練習したりできる公園は稲美町にはないようです。稲美町は、子どもにやさしい町だとこちらに越してきましたが、満足度はまだまだ低いです。
女性	60 歳代	公園の整備が不十分です！トイレ、遊具が管理されていない！コロナで外に行きにくい中、公園に孫を連れて行きましたが危ない！
女性	60 歳代	稲美中央公園に、スベリ台が多く、他に遊べる物が無く、木々も多いような気がする。見通しが良く、楽しい遊具も有り、いつも遊びに行きたい公園にしてほしい。
男性	70 歳代	城ノ池公園・・・幼児用のまた低学年用利用の分離を。城ノ池公園・・・ボール遊びでトイレの板にあてている、壁打ちがほしい。城ノ池公園・・・最近ボード遊びで自治会用のカラーコーンを使用している。ボード用の遊び場をつくれないか。公園内にボルダリングの遊び場をつくってほしい。
男性	70 歳代	中央公園北側の景観を良くするため、整理をして他所から中央公園に来られる方に見せられる美しい稲美町にして頂きたい。
男性	70 歳代	公共物に対して(公園等)の管理が今一つ十分でないと思われる。例えば、公園の中で「禁止」の立て札が方々にたくさんあるが、見回りをしている人を見た事がない。事故を起こしてからでは遅いと思うのだが…。
男性	80 歳以上	各地区にあるグラウンドの整備。年寄りがグラウンドゴルフが楽しくできるように、砂、土等を入れてしっかり整備。

（10）アンケートについて

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	アンケートが多すぎる。インターネットでも回答できるようにすれば、もっと回答率が上がるのではないでしょうか。
男性	50 歳代	まちづくりのために必要なアンケートであると思いますが、やや設問の数が多過ぎると思いました。
女性	50 歳代	このアンケートがどのように役立つのかこれから見ていきたいと思います。
男性	60 歳代	できればこのようなアンケートはネットで回答ができるよう整備願います。集計が非常に早くなると思います。もう１つ、住民票、印鑑証明等は、コンビニで手に入れられるようお願いします。
男性	60 歳代	せっかく、このようなアンケートを取るなら、必ず活かしてほしい、形式的に町民の意見を聞いていますよの程度なら、今回限りにしてほしい。町行政の活躍に期待しています。
男性	60 歳代	住民アンケートの時期と国勢調査が重なり、このアンケートを国勢調査と思っている人も多かったようです。もっと時期を考えてほしい。住民アンケートは同じような質問が多すぎないでしょうか。また若者よりも高齢者への要望や地域づくりを考える観点が少ないように思います。
男性	60 歳代	まちづくりに関してではありませんがこういうアンケートはネット（PC やスマホ）で行えるようにもするべきだと思います。
男性	70 歳代	アンケート等で住民の意見を聞くのは手法としては良いと思うが、SNS 等に慣れている世代にはどう映るかは疑問（従来手法の検討→見直し）。設問がやや類型型で、踏み込みが足りない。ために、当たり前の回答に終始するか、又は現実に即した本音らしい解答が得難いと思われる。逆アンケートの方法として、行政、企画メンバーにて望ましい稲美町のイメージ、ビジョンを決め、この提案を住民に問い、意見、集約を図り、見直し、計画作成を行うのもありと思いますが・・・(本アンケートからはあまり前向き、画期的、建設的な結果が得られないかと)。
男性	70 歳代	個々のテーマについてネット等の調査を行い、具体的な目標設定を行い、check&Review をしながら他の市町村の例等を盛り込むこと。時代の流れ、技術の進歩等も考えること。
男性	80 歳以上	今回のアンケート１回／10 年との事だが１回／５年にしたらどうか、世の中の変化は早くなっている。
男性	80 歳以上	できるだけ多くの質問の解答欄に「わからない」や「関心が無い」や「回答能力がない」などの欄を作った方がより正確な意見、本心を集めることができると思うのですが。

（11）広報・情報について（住民への情報提供の充実、町外へのまちのＰＲなど）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	稲美町ホームページ更新→クラスターが起きた事など重要事項が更新されていないと、現在のコロナ事情が分からず不安。スマホアプリ「ひょうご防災ネット」の更新、他の市は声かけ事案・チカン・暴行など市民が自ら注意が必要な事件などの更新、コロナ感染者の概要などの更新がされている。若い世代の人たちは「広報いなみ」を読む人は少ないと思います。ネットやアプリで情報を入手する人が多い中で更新されないと、見なくなり情報が入らない。
男性	30 歳代	内外への「よい町」であるアピールが少し不足しているように感じる。もっと働く世代へのアピールをすれば転入者が更に増え、よりよい稲美町へと向かうのでは…？と考えます。
女性	30 歳代	神戸方面への通勤には JR まで少し遠いので、明石、加古川に比べて居住地としては不利だが、自然環境や子育てのしやすさ、住居の価格を購入しやすいようにして稲美町ならではの良さを PR してファミリー層に居住地として選択してもらえるようにできたらいい。また、市街化区域以外でも空き家を活用できないか（居住地として利用できるように）を把握して、住居を探している人に紹介したり、商業施設として活用することができたらいい。

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	情報発信の仕方が分かりにくい(高齢者に対しては不親切である)。誰もがインターネット環境がある訳ではない。
女性	40 歳代	「広報いなみ」が読みづらい。記事の順序もごちゃごちゃしているし、文字体やイラストも混在しているのでわかりづらく、読む気がなくなる。必要な情報が載っているため、もっとわかりやすく読みやすく、改善してほしい。ページ数が多すぎるので減らす（文字はそろえて小さくする)。記事を整理して並べる。関連のあるものは同じページに載せる。色が多色すぎるので、何色かに限定する。今まで何度か引越し、そのたびに、その自治体から広報をもらってきたが、一番だめだと思う。他の自治体のものを参照して、いいものに変えて下さい。
女性	40 歳代	稲美町に移り住んで 15 年ほどになりますが、この町のことは未だによくわかりません。日中県外で働いていますので、情報を得られる機会が本当に少ないです。Facebook の更新などはもっとしてほしいです（Twitter の方が検索しやすくていいと思いますが・・・)。行政の広報に携わっていますので、稲美町がどのようにして外から人を来させるのか不思議に思っています。
男性	50 歳代	色々な取組がされているが、対外的なアピールが薄いように感じる。転入時にリーフレット、パンフレット等を渡して理解度を深めてもらうのも良いかも。HP もいかにもお役所的な構成になっていて、外から見に来た人に対してどんな良い所があるかわからない。住んでいる人に対しても解りやすい構成になっていない。赴任の場合、サービスや税のこと、給付金等を調べに使うと思うが、どこから見ていけばよいかもわかりづらい。取組やサービスの「見える化」をもっと意識して行えばよいと考えます。
女性	50 歳代	何か困ったことがあった時にホームページを見ますがわかりにくく、調べにくいので毎回苦労しています。他市町のホームページをいろいろ見て勉強して改善してください。字も小さく、とても見にくいです。高齢者が多いので字は大きくいらない事は省く！別ウインドウ使い過ぎ！今のホームページを見て移住しようと思っている人はわかりにくくて困るでしょう。
女性	50 歳代	稲美町は町内だけでアピールしている感があると思う。もっと町外にもアピールしていくべきです。
男性	60 歳代	稲美町が住みやすい街、住みたい街にするためには、私も行ってみよう、行ってみたい気持ちにさせる、ワクワク感のまちづくりだと思います。１つや２つの目玉商品だけでなく、多くの特産品、とっておきの芸術・文化の強化、月々にそのおのおの特長や楽しさへの紹介のコーナー、TV コーナーを設け宣伝する。
女性	60 歳代	行政のアピールが少ないため、せっかく頑張ってしてくれても町民には伝わらない。
男性	70 歳代	稲美町独自カラーを対外にもっと発信すべき。
男性	70 歳代	各機関の広報活動として当然必要とは思いますが、例えば「広報いなみ」に一本化するとかできないか。議会ニュースももう少し簡素化できないか。また、毎年配布されるカレンダーは、申し訳ないですが使っておりません。大きいことも一因ですが、日程管理は PC やスマホですませております。そんな家庭も結構多いのではないか。
男性	70 歳代	情報発信力をアップし、スピード感をもって町民に伝達してほしい。近隣の自治体に比べ遅い。国や県との連携や、また近隣自治体の動向もふまえることも重要だが町(長)の考え、ポリシーを発揮してほしい。情報伝達方法として、広報紙やアナログのアナウンスだけでなく、現在にふさわしい機器(スマホ、PCetc)を使用して、スピーディーな発信量を増やしてほしい。
男性	70 歳代	自然豊かで災害の少ない稲美町の良好な自然環境を行政で広くアピールし、若い世代の流出を止め、外部からの当町への流入を促進させるべき。明石市の施策を見習うべき。「稲美町」を消滅させてしまわないよう一刻も早く動くべし。
男性	70 歳代	神戸新聞の東播地区で稲美町の話題が少なく、もっとアピールし、学校、社会、地域の話題を週３回新聞に。稲美の話題をもっと多く。まだ少ない。
女性	70 歳代	地区によって年を老いた人が増えています。自治会の活動の参加も少なくなってきています。今後の事を考えると不安な思いです。稲美町は、古民家や空き家が多いと聞きます。若い人が少しでも住むようＰＲや情報を知れる事をお願いしたいです。
女性	70 歳代	新聞等、公の機関を利用して稲美町の記事（行政でも個人の内容でも）をもっと（今は少ない）発信し、地元だけでなく他地域にも稲美町（わが町）を知ってもらう機会にしてはどうか。
男性	80 歳以上	新聞等への投稿記事をもっと増やし、稲美町の発展ぶりを大いに PR し、町民はそれに向かって一丸となって、努力すべきと考えます。

（12）市街化調整区域について（区分の見直し、住宅が建てられないことなどについての意見）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	天満区域だけ住宅が増え、人口も増えているが、加古、母里は農振区域が多く過疎化している。都市計画を見直してほしい。
女性	30 歳代	調整区域が多く、国岡などばかりが人が増え過ぎている。住宅が密集し過ぎて住みづらい。もっと広々とした土地に住みたく、稲美町内で探しているがない。
男性	40 歳代	住んでいる場所が市街化調整区域のため、新しい家が建てられないために住民が減る一方で子どもがいなくなる。
女性	40 歳代	新しい住宅も調整区域のため建てる事もできず、高齢者ばかり増えて、子どもの数が増えません。
男性	50 歳代	わずかな農地の転用も許されず、新宅も建てられず、町外に転出してしまっている。稲美町で育った子ども達が結婚しても住み続けたくなるような町にしてほしい、。
男性	50 歳代	市街化調整区域の条件緩和が望まれます。
女性	50 歳代	アンケートの中に市街地ゾーンとか、田園ゾーンの土地利用の推進と書いてあるのを見て、そういう区別を初めからしてあるのであれば、公的に支援がないと人口減少だけの問題ではないと思います。
女性	50 歳代	市街地、田園ゾーンを分けて、緑を残すのは重要ではあるが、生活環境においては平等の施策をお願いします。
女性	50 歳代	住宅エリアの基準をもう少しわかりやすく、やりやすくしてほしい。南校区なので、便利なのだが規制が厳しい。
男性	60 歳代	市街化調整区域の見直し。人口減少や商業地を考慮して、市街化区域の拡充を図るようにする。
男性	60 歳代	市街化調整区域を見直し、広域に都市化を進める検討をもっと推し進めてほしい。私の言う都市化とは、高齢者が住みやすい町という意味です。
男性	60 歳代	行政施策等で市街化と調整区域との間でギャップが大きすぎる。地域交流や調整区域の土地利用等の緩和が必要である。
男性	60 歳代	宅地など開けているのは国岡・国安だけで、他は取り残されている。
女性	60 歳代	昔からのしきたりを簡素化して、若い人たちが住みやすいようにしてもらいたい。宅地用が少なく家が建てられない地域があるので、それをなくして若い人たちが来てもらえるようにしてほしい。そうすれば子どもも増えてにぎやかになると思います。
女性	60 歳代	市街化区域と調整区域の利便性が違い過ぎるので、調整区域に住む者にとって、将来稲美町に住み続ける事ができるか不安である。調整区域において、住みよい生活環境を考えてほしい。
女性	60 歳代	市街化調整区域での宅地への制限を緩和してほしい。
女性	60 歳代	市街化調整区域を縮小（農業地）し、宅地を増やす。住居を建てやすいように。県や街の賃貸マンションを増築し、空家をなくし、高齢者を誘致する（人口増加、流出を減らす)。
女性	60 歳代	調整区域で、農家住宅を建設した場合、売る事はできても、買った人（農家以外）は再建築できないそうだがおかしいと思わないか？土地は農地ではなく、宅地になっているのに。ますます空家が増えるのではないか。
男性	70 歳代	人口増と言いながら住宅建設時に農地の転用ができない。農地も草まみれで作物を作る人がいないが転用もできない。これでは人口増は無理だと思う。若い人達が町外にでてしまい稲美町も老人だらけになります。
男性	70 歳代	市街化調整区域の見直しと遊休農地の利活用の推進を希望する。
男性	70 歳代	調整地域のため、外部から入村するには住民の身内しか入れない。住民が減ってくる。団地を計画的に作り地域の活性化を図る。
男性	70 歳代	農業用地の市街地移行など、特区行政の推進。
女性	70 歳代	市街化区域をもう少し増加して欲しい。
男性	80 歳以上	市街化調整区域の見直しを求めます。

（13）税金・自治会費について（税金が高い、自治会費が高いなど）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	自治会費が高い。今年はコロナで支出が少ないはず、次年度は減額してほしい。
男性	40 歳代	自治会費が高いので下げてほしい。
男性	40 歳代	現在の変化に伴い過去にない事象が発生している。ジャンボタニシによる被害。イノシシがここ２～３年出没することになり、初年度は稲が倒され収穫が減少し、翌年からは電気柵を設置するための労力と設備費用として 10 万円程度かかっている。早急にイノシシ対策を取ってもらいたい。過去からの継続で、現在となっては無駄な予算が使われているのを少額ではあるが散見することがある。本当に税金が有効に使われているか今一度見直してもらいたい。
男性	40 歳代	他の自治会は知りませんが、今入っている自治会は会費が異常に高い。今まで他の市町に住んでいましたが、５～10 倍高いです。収支報告も見させてもらいますが、よくわかりません。不正とは思いませんが、行政の方で、他所を参考に精査・指導などの機会を作っていただきたい。慣例のようになっているような説明しか自治会では回答してもらえません。
女性	40 歳代	都市計画税が課せられている地域とそうでない地域があることに不満を感じる。都市計画税だけ徴収され、一向に道路整備が進まず、一層、不公平感を感じずにいられない。今後、税金への不満が解消されなければ将来的に転居も視野に入れたい。
女性	50 歳代	稲美町の自治会費は他市町に比べて非常に高い。年金暮らしになると、支払いが大変である。もっと町が助成して、自治会に協力してほしい。
女性	50 歳代	各種補助金のうち、住宅関係について、家族が住んでいても所有者が町外に住んでいる場合(仕事の関係による単身赴任など)には、補助金の対象外となることが少なくない。家族は稲美町に住民税を納付していることからすれば、税負担上、著しく公平を欠く制度設計である。早急に検討願いたい。
女性	50 歳代	税金が高い。
女性	50 歳代	町民に負担が大きい。クリーン作戦や自治会費。
男性	60 歳代	固定資産税、都市計画税が高すぎる。給料より高いのはおかしい。国岡並みの税は変である。お金を返して下さい。60 万は高い。土地の金額が評価より下がっている。コロナのせいか税金下げて下さい。
男性	60 歳代	税金の無駄使いはやめましょう。
女性	60 歳代	自治会費をもっと抑えることはできないでしょうか?
女性	60 歳代	住民税が高い。
男性	70 歳代	「稲の美しい町」と名の通り、田園風景はいいのだが、毎年春、税金の納入時に怒りを感じます。それは都市計画税なるものです。家を持てば固定資産税は当然ながら、何故一部の”線引き”された地域だけが支払わなければならないのか!まったくもって不公平そのものです。都市計画税はその納入した地域に住む住民のみに還元されているのでしょうか?否、稲美町全体に生かされているなら又、町民全てに役立つお金なら、全体の地域から名前は変えても課せるべきで、一部の地域＝線引という言葉、この線引は誰が決めたのでしょうか?同時期に稲美町住民になった他の一部の地域は線引き内だったのに、何らかの手段で免れている地域がある!こんな不公平な税制度は改めてほしい!都市計画税の明確な説明と対処を何らかの形で明示して下さい。これでは真からの住民になれません。
男性	70 歳代	収入の積極的な活用。
女性	70 歳代	都市計画税について、同じ自治会にあって、川一つで都市計画税を 50 年以上払っているほか、川一つ向かいの家では都市計画税を払っていない。同じように町の援助を受けているのにこの差は何なのか。都市計画税の見直しはされないのでしょうか。
男性	80 歳以上	町民税が高い。

（14）学校・教育について（学校設備への要望、教育の質の向上、など）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	これからも子どもの人口が減り続けていくようであれば、学校の合併も視野に入れて欲しいです。もしくは、人数が少なくても魅力的な教育や支援があれば嬉しいです。
男性	30 歳代	学校区の整備（生徒数にかたよりあり）。
女性	30 歳代	より一層学校給食に力を入れてほしい。子どもの体作りのために、オーガニック給食を！牛乳はなしはできないのか？子ども達は自分で水分をもっていっているはず。牛乳代もうく。牛乳は体によいとは思わない。せめて、パンの日のみなど。
女性	30 歳代	英語に特化していたり、色々な特色のある学童があるのは、とても魅力的であると思う。共働き世代が増えているので、小学校について、1 クラス当たりの生徒、児童数を減らし、一人一人のニーズに合わせられる教育を目指して欲しい（周囲の市町に先がけて取り組んで欲しい）。未来を担っていく子どもたちが、幸せに成長できるよう、教育に注力して欲しい。まずは 30 人以下学級を。
女性	30 歳代	子ども達への教育の充実を願います。周辺（神戸、明石など）との学力の差が心配です。稲美町ももっと子どもへの学力の向上に力を入れるべきだと思います。
女性	30 歳代	オンライン授業の導入等、コロナが増えてきた時に向けて対策してほしい。
女性	30 歳代	学校教育について、同じ町内でも小学校の学級数にバラつきがある。学校区の再編等により、単学級となることは防げないのか。
男性	40 歳代	教員の質を上げる。
男性	40 歳代	小学校校区ごとの生徒数のバラツキが大きすぎる。校区の再編成が必要では？生徒数の少ない校区の住宅開発がしやすいようにできないか？
女性	40 歳代	教育の ICT 化、教育サービス業の誘致。
女性	40 歳代	スマート化の時代なのでタブレットを早く普及してほしい（学校）。ランドセルの廃止、置き勉をもっと推奨する。共働きも多いので、保育体制の充実は早急に！忙しい家庭も多いので、PTA の廃止！←そもそも法律違反。無駄な行事、イベントで親が参加しないといけないのも負担でしかない。もっとスマートなまちづくりを。めんどくさいことはみんな嫌がると思います。無理にふれあいとかコミュニティとかいりません。新しいよいことはどんどん真似してください。
女性	50 歳代	今の子ども達は、家庭で洋式トイレに慣れているのに、学校では和式トイレが殆どで、洋式トイレは少ないと聞きました。トイレに行きたくても、和式トイレが使えない（使いにくい）と言う子どももいて、トイレを我慢する子もいるようです。トイレくらいは安心して使用できるように、洋式トイレを増やしてもらえないでしょうか。
女性	50 歳代	先生方は部活動の指導に土日もなくされていました（うちの子どもが通っていたころ）が、学力をつける方面に力を入れてほしいと思います。今は部活も週に何回か休養日があると聞きますが、きちんと先生方も休んでいただいて、学習指導に重きを置いてください。教科指導の専門性を高めてください。稲美町に住んで住環境や買い物の利便性などには満足していますが、小学校と中学校のギャップに驚きました。中学校の建物やトイレも予算をつけて居心地のよいものにしてあげてほしいです。
女性	60 歳代	教育問題（支援金でなく人間力や基礎学力アップ）。少人数のため基礎学力などていねいな教育を（教師の人数を増やす）。幼児教育（親参加も）、人口増加につながる、子育て世代の転入が望める。生涯教育の充実（参加してよかったと満足感が得られる）。
女性	60 歳代	小学校の児童数の適正化。校区を見直す。
男性	70 歳代	職員の登用について、地元出身にこだわらず教育活動に熱意（積極的）のある職員を登用すべき（個性的な人も重要）。
女性	70 歳代	学校の体育館や体育センターに冷暖房の設備をお願いしたい。今時の天候は今までとは違って、厳しいものがあります。災害時に集まる場所には、少しでも快適に過ごせるようにしてほしいと願います。
女性	70 歳代	小学生１学年１クラスしかないのは良くないと思う。校区を減らして多人数学級に。運動会など団体行動が寂しい。
男性	80 歳以上	教育環境について、語学力教育に特色を出す。教師、カリキュラムを充実して他市町村と異なる特化型を目指す。

（15）高齢者福祉について

性別	年代	意見内容
女性	50 歳代	高齢者も増えてくるので、加古川のような成年後見支援センターを作ってもいいのではないかと思います、。
女性	50 歳代	障害者や高齢者の福祉サービスの向上をもう少し活性して欲しいと思う。近くの市よりも施設が少なく不便を感じる。有料住宅施設はたくさん建っているがサービスは満足できるものではない。これから高齢者も増えていくため、考えていくべきことだと思える。
女性	50 歳代	高齢者が安心して暮らせる町を目指してください。
女性	50 歳代	高齢者が多く財政も大変だと思いますが、個々の事情も考慮して介護度や福祉サービスの判定をしていただきたく思います。受け皿である各施設も対応可能案件が少なく利用しにくいです。
男性	60 歳代	高齢者のフレイルへの取り組み。高齢者の人材の活用、組織化。
男性	60 歳代	高齢化、一人暮らし、認知症への対応と安心して暮らせる地域ぐるみの支援体制を進めてほしい。自治会、民生活動への支援。
男性	60 歳代	特別養護老人ホームの入所者数の増員、又は新しく設立を求めます。稲美苑の入所待ち人数が定員と同じ 100 人位いる。
女性	60 歳代	高齢化対策を充実させてほしい。看護、介護施設の充実。
女性	60 歳代	高齢者が多くなってきており、財政が厳しくなってきているのはわかりますが、もう少し介護保険料を安くしてほしい。他の町と比較しても稲美町は高いと思いますが、高くても納められた金額が納得できるように必要な時に利用できるようにしてほしい。
男性	70 歳代	人口減少が進んでいるが、依然高齢者社会が続くので高齢者福祉サービスの向上が望まれる。一番は、特養施設の増設、入居者待ちが多いと聞く。またある程度健康な一人暮らしの老人が住める安価なケア施設も増やして欲しい。
男性	70 歳代	高齢者に対する施設の充実及び福祉の充実。
男性	70 歳代	健康づくりの専門の方の指導を低負担で受けたい。高齢なので体力づくりに注意しなければならないことが多い、インターネットで調べているが十分な答えが得られないものがあるため。
男性	70 歳代	年金生活者が充実した生活をできるようになったらいいと思う。
女性	70 歳代	ひとり暮らし、夫婦のみの世帯が増加傾向の中、健康問題が気になります。現在、コロナ感染拡大のため中止となっている「いきいきサロン」「いきいき広場」「つどい」等の活動の充実を。
女性	70 歳代	介護保険料が高い。元気で暮らし、介護を受けてない人に対しては介護保険料の割引があってもいいんじゃないかと思います。
女性	70 歳代	現在「コロナ」により各種行事、イベントの中止で、地域の活動が不活発であり、若い世代はストレスを抱え、内にこもりがちになる。また、高齢者は活動できず、体力が落ちてきている。このたび、「サロン」が開かれ、体力測定を実施するに至り、その結果を分析し、以後の町づくりに役立ててほしい。
女性	70 歳代	高齢化社会になってきているので稲美町は高齢者に優しいまちになっていってほしい。
女性	70 歳代	町内では高齢者１人２人などで住んでおられる人が多くなり少し心配しています。
性別不明	70 歳代	老人が寄っていく、皆んなが集まるいこいの場があったらいいと思います。
男性	80 歳以上	一人暮らしの老人が安心して暮らせる町の実現を望みます。
女性	80 歳以上	高齢化社会となり、老後安心して暮らせるように施設の充実をお願いします。

（16）人口減少について

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	「人口減少」は恐らく東京都以外の全ての自治体が直面している問題だと思います。「減る事を前提にしたまちづくり」に視点を変える事も必要かもしれませんね。
女性	40 歳代	新しい時代にあった行政を。古い時代から脱却する勇気を。若い世代が流出しない工夫を。稲美町で育った子はまじめでやさしい心豊かな大切な人材です。他市にもっていかれるのはもったいない。何かをかえることは大変だと思いますが、頑張ってください。
女性	40 歳代	少子化、人口減少において、財政の今後に不安を感じます。稲美町の良さをいつまでも残せるようお願いします。
女性	40 歳代	天満小学校区以外は少子化がすごく進んでいると思う。Ｕターンや Ｉターン就職などを推進して住民を増やす事ができないのか。
男性	50 歳代	稲美町への出戻り住民への手当拡充（10 年以内等）。
男性	50 歳代	少子高齢化に対する対策を独自にＰＲして人口増加に努めてください。
男性	60 歳代	人口減少地区への対策が必要。原因を分析して施策を。
男性	60 歳代	稲美町に若い人たちが転出しない町、若い人たちが転入してくるような魅力のあるまちづくりが必要だと思います。
女性	60 歳代	人口減少を防ぐ政策は、国全体の課題で奪い合い政策になっていると感じています。稲美町の人口減少は働き盛りの世代減少と高齢者の死亡で今後も続くのではないでしょうか。いっその事、高齢者の町を目指して魅力を発信していった方が人口は増えそうな気がします。自然や環境の大切さを実感できる世代に終末までを想像できるような町づくり政策の方が、今の稲美町には合っていると思えるし、そんな”定年から墓場まで”を売りにした町にしたら面白いと思いました。
女性	60 歳代	母里地区に若い人が住んでくれるような魅力のあるまちづくりを希望します。
女性	60 歳代	人口減少は当然な事なので、ミニマムでコンパクトな町づくりを。少なくていいではないか。中身を充実させる。
男性	70 歳代	人口減少防止策の実施（農業では生活できない）。税収増をはかる。町より退出（明治乳業、神戸物産等々）企業誘致に努力を！
男性	70 歳代	役場の周辺は計画的に整備され若い人や子ども達も多く地域全体に活気があるが、同じ町内でも限界集落のようなところも多々あり、高齢化や一人家庭など不安要素が存在している。どうしたものでしょう。
男性	70 歳代	施策の全貌。人口増加対策等全体について熱意が伝わってこない（行政→住民）。
男性	70 歳代	人口の減少をさせないための具体的な対策を早急に考えてほしい。
男性	70 歳代	人口減少は避けられない問題であるがそれにそった行政を行ってほしい。人口の少なさにダメだダメだと後ろ向きにならないで共動を目指していく方がよいと考える（自分も頑張りたい）。
男性	70 歳代	都会へ出る方法が少な過ぎる。若者が住み付かなくなる。
男性	70 歳代	難しいことで全国的にも正解がない。何とか宜しくお願いします。

（17）空き家・空き地対策について

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	空き家をなくす。
女性	30 歳代	空き家が多く、移り住みたい人は多いのに、制度（空き家バンク）が整っておらず断念する人が多い。
女性	40 歳代	空き家対策もしていただけたらと思います。空き家のままでは新しい世帯も増えません。空き家、土地を買って新しい家を建てる方が増えています。助成金を活用して何かいい方法を考えていただけたらどうかと思います。
女性	40 歳代	空き地の整備がなされていないため、草がすごく生えている、外土地であるが仕方なく草刈りをしている、どうにかしてほしい。
男性	50 歳代	これから空き家が増えてくると思います。空き家の増加は、治安や衛生、景観の低下の一因となったり、火災などの災害にもつながると考えます。空き家対策について国の方針を待たずに、町独自の施策を検討して下さい。

性別	年代	意見内容
女性	50 歳代	空き家が増えてきているので、手放したい人、家が欲しい人双方にメリットがある方法があれば良いと思います。
男性	60 歳代	廃屋対策が必要。放置すると町全体の印象が悪くなり、人が寄りつかなくなる。放置農地対策が必要。他の農地に悪影響が出る、町の印象が悪くなる。
男性	60 歳代	空家・空地等が増加傾向にある状況下において街独自の法整備に取り組み、環境保全（美化）に推進願いたい。また、土山駅（北側）の道路拡張整備（明石市）に取り組み、稲美町住民が住みやすいハード環境づくりが必要と思う。農業人口の高齢化に伴う対策も急務。
男性	60 歳代	町でも空き家バンクなどの対策はされているが、空き家バンクに登録できるような状態ではなく、更地にするには費用も多くかかり、更地にしても売却できる便利な土地ではない。その上、固定資産税は大幅アップするとの事。このような状態では放置するしか仕方がない。何か方策はないものか。
女性	60 歳代	空き家の雑草が多く、環境が悪いので、気になります。
女性	60 歳代	我が家の両隣および 200m圏内には空き家が４件あります。厳しい法の壁に阻まれ、ただ朽ちていくのを見ながらの暮らしは不安です。国法ではできない事案でも条例で対処するという術はないでしょうか？、全国に広がる空き家、雑草に覆われた土地。ここ稲美町から解決の一石を投ずることができるよう心から願っております。
女性	60 歳代	空き家の問題を早急に考えて欲しい。
女性	60 歳代	使用されていない田畑の管理ができていないのが見過ごされている。観察を定期的に行い、管理者に意見していただくことを要望する。
女性	60 歳代	放置田や荒れた空き家が雑草だらけになり、放火等の心配もあり、害虫の被害等多大な迷惑を近隣の住民が被っている場所がたくさんあります。積極的に持ち主に働きかけて、住み良い安全な稲美町へと、空き家や空き地利用を考えて欲しいです。
女性	70 歳代	休耕田が増えているのが気になります。秋にはコスモス畑できれいですが、雑草がいっぱいの畑をみると、何となく複雑な思いです。休耕田が有効利用された方が魅力的な町になるのでは？
女性	70 歳代	高齢化が加速する中、空家が目立ちます。この空家を”BANK”システムにして、都心の若い人たちを呼び込めないかと思います。家も住む人ができ、荒れる事もなく田舎暮らしもできると思います。
女性	70 歳代	空家の活用として、他国の人々を住まわせる事は、元々の住民を不安がらせる（コロナ、その他）。
女性	70 歳代	素晴らしい環境の稲美町ですが、どちらの地区でも空家が無数にあり、管理もされず、近所住民には非常に辛い風景です。行政の元、まず人を増加させる方向の利用策を考えていただきたく要望致します。どなたにも明日は我が身です。
男性	80 歳以上	屋根の崩れた家屋は早急に始末する事。

（18）医療について（医療機関の充実（特に小児科、産婦人科等）など）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	妊婦の助成券が金額ごとの使用で使いにくい。金額を自己負担しているのに、助成券が余ってしまい、困っている。
女性	20 歳代	不妊治療費助成金の一般不妊一年度あたり５万円までは低すぎると思います。タイミング法でも一周期するだけで１万円超えは当たり前、人工授精は一周期で３～５万円します。体外受精は移植まで 40～70 万円に対し 10 万円までも低すぎると思います。保険適用でない世の中で町や市からの助成金が少なすぎると、子どもを諦めてしまう夫婦も多いです。人口減少はこういうのにもつながりますし、私も不妊治療をしているからこそ、助成金を調べ、納得いかないので要望として書かせていただきました。
女性	30 歳代	子育てファミリー層が増えてきた中で、産婦人科がこの町にないのが困る。加古川や明石など、少し離れたところに出向かないといけないのが不便である。１～２ケ所くらいは産婦人科は必要だと思う。
女性	30 歳代	病院の体制がいまいちかと思う。全ての年齢が、かかれる病院であってほしい。中央病院のうわさは、よくない。せっかく新築しても、かかりたくない人が多い。特に救急車を呼びたくない…と思っている人もいる。担当曜日。小児科もあるが、大きな病院があっても、町外にかかることになる。

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	産婦人科が町内にない。妊娠で運転が困難になる場合もあるため、病院までの通院補助があるといい。産後ケア事業の充実希望。産後日々初めてのことばかりで不安もあり、寝不足で買い物もままならず、自分から動く事ができないので月に１回でも訪問して相談にのってほしい。
女性	30 歳代	稲美町には産婦人科がありません。ないならないで、西神戸医療センターや加古川医療センターや近隣の産婦人科の情報発信をしてほしいです。引っ越しをしてきたときに、病院探しに困りました。西神医療センターの医師に相談したら、不妊治療を行っているところなど、病院の特色がわかる一覧を出してくれました。
女性	30 歳代	一歳半健診の際、あまりにも後日連絡や参加してください等のことが多い。上の子もいたりする中で、時間を合わすのが大変なので本当に問題があるなら医療機関の紹介等にしてほしい。上の子の時も相談等もしたが、解決しないことだった（食べない、体重が増えない。アドバイス等はすべて試した。小児科でも問題なしとか。）当方が不安を感じていないのであれば必要以上の介入はやめてほしい。
女性	40 歳代	・道路整備…天満神社前の道路狭いので、無理ですかね？・公共交通機関の拡充（ＪＲに出るまでのバス路線を増やしてほしい、神姫バスが無理なら稲美町独自のコミュニティバスを運行するとか、神姫バスが運行していない時間帯の移動手段に困っている人がいると思います）乗り合いタクシーの話が出ていましたが、どのようになっていくのかがまだよくわからないので念のため要望として書きました。・子育て世代のサポート、不妊治療のサポート…悩み相談とか金銭的サポートｅｔｃ。・公園の遊具拡充…近所に公園何か所かありますが滑り台、鉄棒しかなくてもう少し遊具があると助かります。・一時預かりの事業所？みたいなところを作ってほしい。今はコロナで難しいかもしれませんが、気軽に預けられるところがあると助かります。・稲美町に産婦人科があると若い世代の人達は助かると思います。
女性	40 歳代	中央病院はじめ内科、整形外科、質が悪すぎます。これから高齢になってきたら、どこのお医者様にお世話になったらよいのか。
女性	40 歳代	稲美町に産婦人科の病院を作ってほしいです。出産や婦人科の病院が近くにないので加古川とか明石まで行くので困ります。なので、病院、医療の充実をお願いします。
女性	50 歳代	町ぐるみ検診のことでおたずねします。私は月曜日しか休みがなく毎回月曜日を探していましたが火～金しかありません。ここに住んで 30 年みんな町ぐるみ検診に毎年行って、私はとてもうらやましかったです。近くの病院で採血などの検診はしていましたが、レントゲンはしていませんでした。なんと 10 年前から肺ガンで骨、全般・脳の転移もみつかり余命一年半を告げられ町ぐるみ検診さえ受けていればこんなことにならなかったのにとくやまれます。なぜ月曜日がないのか未だに不思議です。平等に検診が受けられるよう考えて欲しかったです。
男性	60 歳代	産婦人科医院が少ないのは、人口も増加しない。
女性	60 歳代	稲美町に産婦人科が無い。こどもクリニックもイマイチ。バスの回数が少なく不便。
女性	60 歳代	耳鼻科があれば助かります。
男性	70 歳代	総合病院（公立）の建設。
男性	70 歳代	医療体制が充実しているとはお世辞でも言えない。
男性	70 歳代	住みよい地域であるが社会保障関係が周辺地域より遅れている。例えば医療保障関係等。
男性	80 歳以上	医療、福祉面の充実。公共交通機関の充実「公共交通の便が悪い」。日常生活(特に買物、通院等々)に便利な「まちづくり」を要望。
男性	80 歳以上	役場に近い地域はとても良くなっているが、役場より遠い所に住んでいる者は色々な面で良くない。もう少し、東西南北に住んでいる者のことも考えて欲しい。交通の便が非常に良くない。町の病院があってもいいのではないか。
男性	80 歳以上	町内に産科婦人科の病院はあるの？
男性	80 歳以上	老人の医療福祉のより充実を。

（19）自然・景観について

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	自然の豊かさで移住してきたので、ぜひ自然を大切にして欲しいです。保育園の方針にはとても満足しているので、その方針を小学校などでも活かして欲しいと思う。
男性	30 歳代	自然があり、のどかである稲美町はとても住みやすいと感じている。子ども達が健康に成長していける町であってほしいです。
女性	30 歳代	稲美町は自然も豊かでとても住みやすい町だなと感じます。公園なども多く、子ども達もとても喜んでいます。
女性	30 歳代	自然豊かな町の様子を好きになり、稲美町に家を建てて住むことに決めました。ですがどんどん開発が進んでいき自然豊かな街なみが減りつつあることをとてもさみしく思っております。町の人口が増え活気あふれることはとてもよいことだと理解しておりますが、稲美町の良さである自然を残すことも大切だと思います。
男性	40 歳代	何故稲美町なのかということを熟考した施策をとっていかなければ、かえって町の特色を失うことになると思う。豊かな田園風景と小川等の自然環境、農業地として住宅をしっかりとわけ、特に若い世代が安心して子どもと暮らせる環境を整備すれば、おのずと人口は増加するのではないだろうか。
女性	40 歳代	豊かな田園風景を守り、安心安全な稲美町になることを希望する。
男性	50 歳代	今後の人口減は気になりますが、慣れ親しんできた稲美町の原風景を残す形でできるだけ施策を進めていただけると嬉しく思います。
女性	50 歳代	コスモス畑をもっと大規模にすれば、多くの人が見に来てくれると思います。
女性	50 歳代	自然を大切に。のんびり生活できる町をこのまま続けて欲しいです。
男性	60 歳代	現在ある森林を減らすことなく、池や川、公園の整備を行い、森林浴や散歩等ができる町づくりをしてほしい。
女性	60 歳代	季節を感じる田畑の風景が心なごます町づくりができれば良いです。
性別不明	60 歳代	35 年位前に稲美町に越して来た頃は、池に糸トンボやホタルが見られました。とても良い町だと心から思いました。平成に入った頃から、トンボも少なくなり、ホタルは見えなくなりました。池の水のにごり、やぶ蚊の発生が気になります。夕涼みも蚊にさされ（特に小児）できません。池の水の浄化、循環費用はかかると思いますが、お願いしたいです。水のきれいな町なら住み続けたい。水は命の源だから…。草ぼうぼうの所がたくさんあります。土木課等で処理できませんか？花粉症がひどくつらいのです。町を出た子どもはほとんど帰ってきません。街の方が住みよいとの事。美化された町なら帰りやすくなると思います。
男性	70 歳代	安全安心なまちづくり。せっかく恵まれた自然豊かな生活環境を壊さないで。
女性	70 歳代	稲美町は字の通り美しい稲美町だから全く開発は望まない。山とか川を沢山残したらいいと思います。
女性	70 歳代	我が家の前に川があります。幼少の頃からよく遊んだ川です。水がそこそこ流れていて情緒ありました。古い川です。今は川の中は樹が茂っていて、大雨、大水が出たら水の流れが止まります。費用は大変だと思いますが元のきれいな川に戻りませんか。場所は、国岡と国北の間の川です。
女性	80 歳以上	すべてにやさしい町、自然が生かされる稲美町をと願っています。
女性	80 歳以上	山の少ない稲美町ですが、最近とくに山林に入る地帯が建造物や太陽光設備に変わり、非常に残念に思っています。はや、野鳥や野生動物が居場所を失い市街に出没したりしているのには胸が痛みます。今更、山や林がつくりだされることはないと思うと、本当に町政はどうなっているのかと疑問をもちます。

（20）農業の振興について

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	空き農地の利用を増やすアイデアを募集し、有効利用しては?キャンプ場、レンタルスペース、イベント利用 etc。農業推進のためにできることもたくさんありそうに思う。
男性	40 歳代	農業で地域を盛り上げるしかないと思うので若い人たちも農業に取り組みやすいように手厚い仕組みを考えてほしい。
男性	50 歳代	稲美町の魅力は農業を中心とした自然豊かな町だと思いますが、ここ最近は人口減少や若者の農業離れで農業に関心がなくなりつつあります。農業を続けたいが収入が無く生活できない状況が原因で次の担い手がいなくなりつつある。農作物のブランド化や営農の人数を増やし、若者にも参加して農業の教育や魅力を伝えるべきだと思います。
女性	50 歳代	稲美町の名の通り、稲や麦、野菜、果物などが、もっとアピールできればと思います。近所では荒れた田畑が多くあり、その活用ができればと思います。他県ではお米をブランドとして公的機関が管理し、流通を国内ではなく海外に向けて発信し、元気な御年配の方々の収入にもつながり、収入になると思えば働くので病院に行く事も減り、「やる気」が「健康増進」につながっている例もあります。稲美メロンやいちご、米、その他諸々ありますが、国内や地域だけでは流通に限界があるのではと思います。
男性	60 歳代	農業の後継者や担い手が少なく、高齢化もあり、営農もできない地区もある。放置田も多くなり、個人の農業では限界がある（営農への補助金は手厚いのに、個人農業者へは何もない、個人ではできないに等しい)。
男性	60 歳代	兵庫県内で作られた農産物を稲美町内で集め、食の安全をテーマに販売するイベントを考えてみてはどうか。その中で稲美町産のブランドを高めて、神戸、姫路からの住民に PR してみてはどうか。イベント時に自然豊かな場所であることから子どもが安全に遊び学べる公園等を近くに配して、常に他地域の子ども等も来てくれることにより、若い世代が稲美町に住んでみたいと思える仕掛けを考えてみてはと思う。いかに他のエリアの住民に、稲美町の事を知ってもらい住んでみたいと思える PR を常に発信しないと若い世代が定着しないと思います。
男性	60 歳代	農業の振興。稲美町は農地が多いが、近年農業就労者の高齢化等で不耕作地が増えている。トラック等の駐車場に転用されている土地が多い。不耕作地を町が借上げ、営農組合のような農業者集団（会社組織にするのは、法的に難しいかもしれないが）と請負契約を結び農作物を栽培できないか。内の遊閑地を町が一括で管理して季節により付加価値の高い農作物を育て販売する。農業者集団を会社組織（もしくは准会社組織）にすることで若者の雇用の確保や、技術の伝承を図る。又、水耕栽培等の新技術にチャレンジして効率向上を図る部署を設置すべきである。新技術導入による効率向上やマーケティングによる販売ルートの開拓等を行わないと農業という産業は衰退する一途である。町のリーダーシップを期待する。
男性	60 歳代	稲美町は農地がいっぱいあるので、JA・町・営農組合等が協力した農業の活性化が必要と考えます。
女性	60 歳代	農業・農地を活用する取組を進めて欲しい。高齢化が進み農地を守る事も難しい状況、活用の道もなく先が不安、営農組合が盛んな地区もあるが全てそうでもない。ここでは解決することも難しい。町で営農組合を設立し守ることは難しいのでしょうか。
男性	70 歳代	町とＪＡの協働体制による農業振興の推進。
女性	70 歳代	稲美町の池や農業を生かした交流を近隣市にもっと PR してもらいたい!
男性	80 歳以上	農業を継続するための高額な農機具購入の町単独の補助事業はどうか。施行されていたら農家負担が１割未満にされたらどうか。
男性	80 歳以上	農政と都市計画法とのバランス、例、減反施策、開発規制等。
女性	80 歳以上	農村にありながら幹線道路の両脇にはこれが稲作？と思うような耕作田があったり自治体によっては営農組合があり乍ら特定の人の農機具のようであったりする。本当に農を続けたいと思っている人に手助けしてくれるような団体を育ててほしい（法人組織)。農地を提供して（株主）となるようなこと。

（21）その他施設について（公共施設に対する要望など）

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	東播磨道の出入り口付近（加古地区でＯＫ）に道の駅を作ってください。
男性	30 歳代	図書館の機能の拡充をお願いしたい。現在メインで利用しているのが、加古川市のものなので、稲美町民としては切なく思います
女性	30 歳代	図書館の蔵書数が少ない。またふれあい交流館、コスモホール、図書館の雰囲気が暗くなった。町の文化施設が淀むと行政に不安を感じる。最近のスポーツに関する取り組みは効果が上がっているように思う。活気があって気分が明るくなる。ぜひ文化面にも活気がほしい。
男性	40 歳代	入浴施設を建設してほしい。
女性	40 歳代	コスモホールのイベントが少なすぎると思います。
男性	60 歳代	スポーツ施設の申し込みの仕方が不便。他の市町ではインターネットでの申し込みができる、利用日に次回の予約ができるよう曜日を基準にすべき（現状、予約の度に足を運ぶことになる）。
男性	60 歳代	目玉となる施設が無い。みんな中途半端な物ばかり。これでは人は集められない。人が集まれば活性化する。陸上競技場でも、野球場でも、体育館でも一つでも作るべきだと思う。人が呼べる施設が必要ではないかと思われます。今の施設やグラウンド場等は中途半端。作るならもう少し公式で使用できる物が必要だと思われます。
女性	60 歳代	人口減に伴い、町内に外国人労働者の方々が多数居住されるようになっています。地域住民、外国人の方々が共に暮らしやすい町であるように、交流をもったり、共に学べる場がもっとあればよいと思います。そういう場所を確保するときに、コミュニティセンターや役場の会議室、文化の森の研修室などを無料で使用できるように考えていただきたい。共に学び、暮らしを共有する先に、共に支え合う社会があればよいと思います。稲美町をただの短期の出稼先にしてしまってはいけないと思います。
男性	70 歳代	町内の施設は各種ありますが、多くの人達が利用され楽しく活動されているのは、良いことです。施設利用にあたって、利用者が使用料をお支払いするのは当然で合理的です。一部施設が減免により無料となっているところがありそちらの方へ利用者が流れて行っています。町として統一的理念の元、使用料を徴収されたく要望します。尚、町の育成団体（教育関係、ＰＴＡ女性団体、障がい者団体、高齢者団体、体協、S21 等）は当然無料で良い。
男性	70 歳代	予算を残すばかりでなく公共施設のリニューアル（トイレ等）。よそから見て恥ずかしい。
女性	70 歳代	スポーツ施設の利用は町民を優先に。
女性	80 歳以上	老人会などの集まりで福祉会館などよく利用させていただきますが、よく使うトイレが古く和式などはみなさんの使い方が悪いのでしょうが、新しいのにやりかえてほしいです。

（22）農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	もっと特産品を作ったらいいと思います。
男性	30 歳代	稲美町は農作物が豊かであるので、作物のブランド化・製品化、店舗との共同運営など（にじいろふぁーみんのレストランのような）を行い PR していくことは重要。交通網の進展で稲美ブランドの野菜などの PR も可能だし、近年は食の安全思考も高まっており、道の駅化からより稲美をアピールできると感じている。他地域のイベントに稲美の作物、店舗をどんどん出店させアピールしていけばいいと思う。
男性	30 歳代	田畑が多く、農業に従事できる環境にありますが、若年層が業界に入りやすくするために、「稲美町」のブランドを作り PR することで、土地活用や働き手を増やすことができないか。
女性	30 歳代	未来を担う子ども達の健康のために保育園、学校での給食を減農薬、無農薬、オーガニックを目指してほしい。体を作るのは食事が大切です。農薬や添加物をなかなか避ける事のできない世の中だが、質の良いミネラルをしっかり取る事のできる食事をお願いしたいです。

性別	年代	意見内容
女性	40 歳代	農業ブランド化、いなみメロン、とても当たり外れが大きいと聞きました。送ってしまうから、住人はその”まずさ”がわからないらしいと。友人間で農産物はよく贈りあっているので残念な思いです。もしかしたら気温が高い季節の出荷だから糖がのらないのでしょうか。
女性	50 歳代	JA（にじいろふぁーみん）も初めよりは随分野菜の数も増えましたが、あれだけ大きい場所を作ったのだったら、和歌山県のめっけもん市場のようにもっといろんなところから集まるぐらい野菜を置いてイベントしてほしいです。
男性	60 歳代	町独自の米の栽培（新しい品種の開発）。
男性	60 歳代	稲美ブランドをたくさんつくる。発信する。
男性	60 歳代	何か特産品で自慢できる物が無くてはコマーシャルもできないのでは?
男性	70 歳代	農地を大区画化して効率的で生産性の高い農産物の生産を目指す。そうすれば安くて品質の良い物をたくさん供給できる。
女性	70 歳代	稲美町特産の商品開発に取り組んで欲しい。
女性	70 歳代	稲美町には特産野菜、例えば、トウモロコシ、キャベツ等々を使ったオリジナル食品加工場ができたら思います。
男性	80 歳以上	農産物の”いなみブランド”を図り、東京等大都市の消費に（対応する）値する研究と品種改良をする。希に農産者と役場（または県も）等で共同チームを作り、特化ブランドを開発する。

（23）土地利用・土地開発について

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	加古地区、母里地区の若い世代の居住者が少なく活気がない。もっと住宅地の土地開発をして欲しい。
女性	40 歳代	母里地区も、もっとにぎわいのある地区にして欲しい。田んぼも必要ですが、使っていない田んぼを自由にできず、維持費だけが必要になって経済的負担が大きいです。雑草を定期的に刈ったり、大変な事ばかりです。
男性	50 歳代	稲美町は豊かな農地が多くて良いと思いますが、休耕地も見かけますので、それを利用した家庭菜園として、一般の人に貸し出すのが少ない気がする。道路が狭い。その割に大型トラックなどの通行も多く不安である。道路整備の必要性を感じる。公共交通の本数も少なく不便に感じる。また、終バスの時間も早く通勤には不便である。
男性	60 歳代	農地を含めた宅地の提供（法整備の必要はあると思うが）次世代を担う起業家に対しての土地提供等、今までにない発想で町づくりを展開していく必要がある。全国的に見ても立地条件がよく、大きな災害が起こる確率の低い稲美町の強みを政策に反映してもらいたい。
男性	60 歳代	活用されていない農地をどうするか考えていく必要あると思います。加古大池の利用用途も、多岐に渡る活用を考えていくと町外へアピールの一つになるかも。
男性	60 歳代	人口減少にならないように土地を有効利用して家が建てられるようにした方がよいと思う。
男性	70 歳代	空屋の利活用と農地転用の規制を進める。
男性	70 歳代	用途地域、特に工業準工業地区の拡充を期待。農地の再編。
男性	70 歳代	六甲バターの退去後の跡地利用について、一般住宅建設に用いると伝え聞いておりますが、公共的なエリアにして、稲美町住民が暮らしやすい環境作りに用いて欲しい。折角の広大なエリアを最も安易な手段を取って欲しくないです。
女性	70 歳代	活性化は必要だが無理に人口を増やさなくてもよいと思う。「ため池と田園」「緑の環境」等の自然をアピールしているが、徐々にそれは幻想となりつつある。人口＝家が増えても将来は空き家とインフラの老朽化がくるので、増やすより今住んでいる人が流出せずに住み続けることを目標にしてほしい。市街化することが発展ではないと思う。小規模の宅地分譲地は行き止まりがよくある。道路計画を立てて、開発する段階で将来を見据えた行政指導があってもよいと思う。
女性	70 歳代	人口減少に伴い、空地が増加すると思うが、土地利用には行政として充分な指導をしてほしい。住民の生活環境を第一に考えた土地活用をしてほしいと思う。
男性	80 歳以上	高齢者の多い農村地区、土地の維持管理に不安が生じてきている。この方面に今こそ行政の力を・・・。

（24）コロナ対策について

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	今回のコロナ禍で、見えないところでいろいろなご苦労があったことと思います。振り返ってみると、マスクの配布を早くしてくださったり、給付金の申請や振り込みもスムーズでしたし、商品券の配布、水道の基本料金の免除など沢山のことをしてくださったと思い出し、感謝しています。不安の広がる中で様々なサポートをしてくださってありがとうございます。私の好きな格言の中に「勤勉な人の計画は必ず成功につながる」という言葉があって、この言葉の通り、今回皆さんの勤勉な働きがコロナ禍でも沢山のよい事柄が成し遂げられたんだと思います。このアンケートの場をお借りして、感謝の気持ちをお伝えしたいと思いました。本当にありがとうございます。まだまだ予断の許さない中ではありますが、お身体に気をつけてお仕事がんばってください。
女性	40 歳代	厚生労働省の接触アプリＣＯＣＯＡをもっと町としてすすめるべき。
女性	40 歳代	コロナ対策として、マスクの配布や地域振興券の配布など、町独自の行動が早かったのは、とても助かりました。子ども達への日傘の貸与など、素早く対応して下さったのは素晴らしいと思います。是非、今後共このように柔軟に、素早く対応して頂きたいと思います。
女性	40 歳代	この度のコロナにより生活が一変してしまったが、町からの対応が遅く、頼りなく感じた。医療、介護の現場に必要だったマスク（不織布）を配ってほしかったし、現在必要なプラスチックグローブは福祉用具やメーカーからも在庫が無くなっているのでそういった所で助けてもらえたらもっと満足度が増えると思う。
女性	50 歳代	コロナが流行しだした時にマスクが不足して不安になっていた時に、政府より早くマスク配布など迅速な対応には感激しました。これからもそんな感じで、ステキな稲美町だと思える対応をしていってほしいです。
女性	50 歳代	コロナに関係なく回覧板がまわってきたり自治会費が現金徴収だったりと今までとかわらない対応に疑問がある。
男性	60 歳代	コロナ対策で地域振興券でなくて、稲美町共通券であればスーパーホームセンターで使えるのに、なぜ、どこでも使えない地域振興券にするのかわからない。住民の立場で考えていない。
男性	60 歳代	コロナ対策とかの対応が？もっとアクションを起こした方が良い。花火をなぜやめましたか。会場にこさせなく、遠巻きに見られる所から見て楽しんだらと思います。もっと行政が工夫したらどうですか。民間会社はフラフラですよ。町会等議員さん、仕事しなさい。
男性	70 歳代	この度のコロナウイルスの蔓延で悲惨なことになっている国が多くある。一国がうまく封じ込めても揺り戻しがあって再び流行するということが内向きにどんどん加速している。元の平穏に戻るのに、長い時間が必要と思う。自治体としては、あせらず穏やかに、自治体としてできる支援を続けてほしい。
男性	70 歳代	今回のコロナ給付金支給に関して迅速な対応ありがとうございました。
女性	70 歳代	コロナウイルスの影響により町主催のイベントがすべて休みになっています。3/31迄。これは稲美だけの事ではありませんが密をさけるため以前のように人と会う機会がずいぶん少なくなってしまいました。いきいきセミナー、あたご大学、いきいきサロン、特にいきいきサロンは週１回スタッフもこられている方々もとても楽しみにしていた集まりでした。年令を重ねると外出の機会が少なくなってしまいます。コロナが終結するのを待つしかありませんが一日も早く再活動できる事を待っていますのでよろしくお願いします。コープ、ダイキでちょっと座ってコーヒーが飲めていた場所も席がとりのぞかれさみしいかぎりです。近所でもコミュニケーションがとりづらいです。夏まつりも秋まつりも運動会もウォーキングもそしてオリンピックも…開催できるよう祈るばかりです。
女性	70 歳代	今回のコロナに関しても、まわりの市町の様子を見て、１テンポ遅く、町としての発想が少ない。平時の町政にしても、何も変化がなく、ただ流されている感じがする。魅力的なこと、ところが見つからない。
女性	70 歳代	年金生活者なので、今回の地域振興券、水道料金の割引などとても助かっています。今後も宜しくお願いします。

（25）町長、町議会について

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	10 年、20 年、30 年後を考えるのであれば、そういう会議を持つ時のメンバーを 50 代以上の方々を中心にするのではなく、次代を担う 10～40 代の方々を中心にするべき。
性別不明	40 歳代	議会も皆がそれぞれ言うのも大事だが、根本的に一人一人が幸せに暮らす事を軸に一つの目標に向かって議論してほしい。小さな町だからこそできる事を願っています。
男性	50 歳代	稲美町町長をかえてください。
男性	50 歳代	町議会議員の給与をなくし、ボランティアで行う。
女性	50 歳代	稲美町議会議員の削減（14→12）を強く希望する。
性別不明	50 歳代	町議会議員は、一体、何をしているのか？と疑問に思います。マイナンバーを活用したネット議会（町民参加型）の開催もありなのでは？（マイナンバー活用の町民投票）（ログインはマイナンバーを活用し、投票時は無記名にする）。
男性	60 歳代	人口に応じた町議会議員の削減。
男性	60 歳代	議会活動も繰り返し丁寧に報告して住民の理解を得られるよう、もっと工夫が必要。何度も同じ形式で事務的な活動を繰り返していては住民の反応はどんどん鈍いものになって「別世界」になってしまいます。イキイキとした住民の意見を反映した議会になっていますか、議員活動に自信がありますか、テーマを仮定して議員の公開討論。
男性	60 歳代	町長さんの強いリーダーシップを期待します。
女性	60 歳代	町長及び町議会議員を筆頭に若い世代へ世代交代をするべき！現状の古い頭の固いような態勢のままでは町は発展しない！
男性	70 歳代	町職員による町民への行政説明会が不足しており、稲美町がどうしようかどうするかが不明。町議会議員からの政治報告書が唯一、町行政の方向がわかる情報である。ある町では各集落の総会には部長クラスが出席して行政について説明をしている。議員も出席し、住民からの要望や新しくなった行政の変更点等、住民にわかりやすく説明されるので、住民総会への出席率も高く、質疑応答も多く、行政への関心も高い。
男性	70 歳代	もっと議員は県や国に対して話ができる人が出ることを祈る。
男性	70 歳代	協議会等の町の会議に、学識経験者とかボス的な人が入ってまとめているが(町として都合のよい内容としてまとめやすいのでは？)、一般的な町民が少ない。知識がないかもしれないが、そのような人の意見・疑問を聞いて会議をまとめてほしい。介護にしても、準備として内容のわかる冊子を配布してほしい。
男性	70 歳代	町長、町議会の若返りを図る。

（26）障がい者の福祉について

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	知的障害者や高齢者などの施設、福祉サービスがあまり選択できる状況になく、稲美外になりがち。知的障害者支援、高齢者福祉サービスの地域の拠点となるセンターの創設を希望します。また、障害の方の普及啓発（大きな講演会もいいが、障害への特別視を和らげるような、また身近に感じてもらえるような企画）の活発化。稲美町は、いなみの特別支援学校もあり、障害のある方が暮らしやすい町づくり（みんなが暮らしやすい）をハード・ソフトの面から充実し、特色にしてみてはと思っています。
女性	40 歳代	障害児に対する支援が遅れている。加古川市、明石市にできて稲美にできないことが多い。問い合わせると、前例がないと言われ、やろうとしてくれない。できるかどうか、今すぐは無理だとしても新たにやろうという対応が必要だと思うがそれが見えなかった。
女性	40 歳代	医療施設、高齢者施設は整っているが、障害者施設は充実していない。高齢化する親が、安心して任せられる施設を。
女性	40 歳代	発達についての相談や小中学校、放課後等デイサービス、児童発達支援、学びの多様性への啓発と仕組みづくり等、厚労省や文科省等で進められている仕組みを見ていると、働く大人を目指した指導や支援、社会サポートについての方向性が示されています。例えば、いなみ野特別支援学校に通う子の利用する放課後等デイサービスの迎え可能な事業所が少なく、働きながら子育てをすることが困難であるように思います。
男性	50 歳代	障害福祉サービスの充実。

性別	年代	意見内容
女性	50 歳代	障害者の入所施設を増やしてほしい。障害者の入所施設はないのではないかと思います。
性別不明	50 歳代	自身が障がいがありますが、道の整備や店の入口、店内が整っていなかったり狭かったりしてどうしても足が遠のく。バリアフリー等考えて欲しい。障害者手帳を持っていても、持っていなくても、利用できる支援が少ない。
女性	60 歳代	子どもが障害を持っています。この子達が働ける場を町内にもっと作ってもらいたい。
女性	60 歳代	障害者の雇用に向けた研修・カウンセリング・指導等をもっと増やしてほしいです。
女性	80 歳以上	低所得、障がい者に対して温かみのある政策を考えて欲しい。

（27）上下水道について

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	水道の水圧がとても低く、以前住んでいた所に比べ不便である。
女性	30 歳代	稲美町の水はおいしいと聞き浄水器をつけることなく引っ越してきましたが、カビ臭くおいしくないです。稲美町の水はおいしいと宣伝するのはやめてほしい。そしておいしい水が行くよう改善していただきたいです。
女性	30 歳代	水道代が高いので、どうにかしてほしい。
女性	50 歳代	新しい住宅が増え、都市ガスを利用できる地域が増えてきている一方で、まだ町内をバキュームカーが走り、処理のたびにくさい思いをしている住民がいるのはおかしい！下水道に接続させるべき！汚水（家庭排水）を流して、環境整備や川や池の整備をしても意味がない。接続しない家からは、倍の下水道料金をとってもいいくらい使用分の水は流しているのだから下水道料金は徴収すべき！
女性	50 歳代	水の重要性。安全健康にかかわるため川河や農地用水路、住宅街の溝の衛生管理とキレイな水が欠かせない。美しい川河は地域住民の幸せにもつながると考えている。
男性	60 歳代	水道代が高い、なぜですか？道の照明が少ない。歩道の整備が遅れている。交通の便が悪い。いつになったら地下鉄がくるの？
男性	70 歳代	安心して住める町にするため、飲み水の確保が大切であると思っています。稲美町史を見ると、水の確保が大変であったことが記されています。今、飲み水は井戸からの水だと思いますが、今後心配することは水不足は起きないのかということです。取り越し苦労だと思いますが…。
女性	70 歳代	これからも人口減少に伴い、稲美町内の公共料金等はもっと高くなると思う。特に水道料金が高いのには、いつもびっくりしています。人口が少ないのが原因かなあ。
女性	70 歳代	隣まで来ている下水が、途中で引けないと言われた（町職員数名から訪問して）。公平でないと思う。

（28）防災対策について

性別	年代	意見内容
男性	50 歳代	大地震が来てもため池崩壊にならぬ安全な町づくり。
女性	50 歳代	防災情報が入手しにくい。町内放送される時があるが聞こえづらい。避難場所に不安がある（集中して皆が避難できるほどのエリアが確保される？）
女性	50 歳代	防災、災害時の緊急時に使用する屋外スピーカーの設置を増やしていただきたい。道から入っているので災害時とても不安に思う。
男性	60 歳代	災害が少ない町としてＰＲ。
男性	60 歳代	国安川の土砂の堆積が近年増加し、そこに背の高い雑草が川一面に生い茂っている。想定外の集中豪雨やゲリラ豪雨が頻繁に発生している昨今、河川やため池の氾濫、下流の田畑への被害等が懸念される。
女性	60 歳代	稲美町は災害が少なく、住みやすい所です。でも、地球温暖化により台風、大雨など今までは考えられないことが起こります。稲美町も万が一に備え、ため池、水路の整備をしっかりとして欲しいです。
男性	70 歳代	防災対策について　過年度に町が整備された(数億円？)防災無線システム(各自治体等へ貸している端末含む)の実質的有用性(末端住民への周知等)に少々疑問あり。Ex.訓練等により、連絡の徹底がなされているかを検証すべきでは？

（29）防犯対策について（カメラの設置など）

性別	年代	意見内容
女性	10 歳代	稲美町には店が少なく、防犯カメラがほとんどありません。ひき逃げ等にあった時に、少しでも証拠が残るように、道に防犯カメラを設置するのはどうでしょうか。
女性	30 歳代	加古川市みたいに稲美町も、みまもりカメラを設置してほしいです(交通量が多いし、狭い道が多いので)。
女性	40 歳代	路上駐車が増えてきている。道路を車庫代わりに使用している。通報すると逆恨みされても嫌なので町として路上駐車禁止にしてほしい。見守りで気づいているはずなのに、放置されている。防犯カメラが全くない。自動販売機につけるなど自治会に一つの見守りの防犯カメラだけでなくもっと増やすべき。
男性	60 歳代	防犯パトロールがありがたいです。感謝しています。パトロールカーが来るたびに犯罪抑止になっていると思います。
男性	70 歳代	安心安全なまちづくりについて、安全に住める町は人々にとって大切なことである。今後心配することは凶悪な犯罪が増えるのではないかと心配している。これらを防ぐために監視カメラは重要な防犯の役割を果たしてくれると思う。計画的な設置が必要と思います。

（30）地域格差について（中心地のみが栄えている、といった意見）

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	地域整備事業の地域格差が大きすぎる。母里地区の北部は、稲美町ではないのかと思ってしまう。役場のある中心部だけが栄えれば良いのか?同じ税金を払っているのにと思う。もっと周辺地域にも目を向けてもらいたい。老人だけでは地域は立ち行かなくなる。
男性	50 歳代	稲美町は役場付近が発展しているが、他の地域についでどのようにするのか。
女性	50 歳代	一部地域はとても商業施設や支援、福祉サービスの利用がしやすく不公平に思う事があります。
女性	60 歳代	稲美町の中心地にしか目がいってないように思います。それでは長く住み続けたいと思えなく、町に対して不満が募ります。
男性	70 歳代	町の中央だけが良くなっても住みやすい町とは言えない。中央から離れた外周地域の住民にも、同様に住みやすさを感じられる計画にしてもらいたい。
男性	70 歳代	役場周辺の国岡・国安地区は新しい住宅がたくさん建ち、道路もきれいに整備され地番も丁目になり土地の開発がどんどん進み、人口がますます集中しているが、それ以外の地区は昔のままで遅れている。遅れた地区の町づくりを考えてほしい。

（31）地域活動・農業等の担い手について

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	農業の後継者や担い手の育成をするために行政の充実したサポートや補助金、税金の免除、控除が必要。じゃないと若い世代の人は農業に携わろうと思わない。
女性	40 歳代	跡継ぎのいない田畑について、必要としている人が買ったりするシステムを作られてはどうでしょうか？？困っている人がたくさんいて、もったいないと思います。
男性	60 歳代	農業人の育成（町立の農業学校を創設、社会人、高校及び大学と連携し、生徒を受け入れ農産物の生産、製造、販売等、稲美町独特の農業産業を模索し展開していく)。外国人の技能実習生への支援。
女性	60 歳代	農家の後継者不足の対策、空き家対策等、取り組んでもらいたいと思います。
女性	70 歳代	農業の担い手が減少していることが心配です。農地がさびれるだけでなく、周りの宅地もさびれ、地域がさびれ、地域の活力がなくなり、治安も悪くなります。町が主導する農業の企業化が必要だと思います。農地をもつ稲美町として、何らかの対策が求められていると思います。農地の活性化なくして、魅力あるまちづくりはないと思いますので、対策に期待します。
女性	70 歳代	空地（田、畑）誰もする人がいなくなったので困っている。

（32）周辺市町村との合併の要望

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	空気が汚れている。騒音が多い。交通が不便。教育レベルが低すぎる。仕事が無い。産業が無い。とにかく何も無い。税金を払いたくない。地元の会社に公共事業を発注されるともったいない（レベルが低い）。早く周辺の市と合併して欲しい。
女性	40 歳代	以前、稲美町は加古川市と統合するとの話があったが、あれはどうなりましたか？早く加古川市と統合して加古郡ではなくならないと人が多く住んでくれないと思う。また商業施設も少な過ぎる。人が多く住んでくれないと、スーパーも誘致できないわけで、早く魅力のあるまちづくりをしないと、高齢者ばかりの街になると思う。業務スーパーの本社も移転しますよね。法人税の収入も減りますが大丈夫ですか稲美町。
男性	50 歳代	近隣市町村との合併を強く希望しています。
男性	60 歳代	加古川市への依存が多いため、合併希望します。町民（市民でないの）が恥ずかしい！！
男性	60 歳代	将来のことを考えれば、早急に加古川市・播磨町・稲美町が合併し、市政運営を行い広域行政を実施してほしい。
男性	70 歳代	加古川市、明石市等と合併して発展した方が良いと思います。
男性	70 歳代	周辺他市との合併、特に三木市との合併を望む（住所の加古郡を消して欲しい）。

（33）河川・ため池について

性別	年代	意見内容
男性	50 歳代	ため池の近くに住んでいるが、草がひどすぎて通行できない。年に２，３回自治会で草刈りをしているが、1 か月で元に戻っている。人が通らないので土手も弱ってきていて、どこが危険な状況なのかがわからない。土手の管理を業者等に任せる事はできないのか？草刈りをシルバーに２か月に１回位は？ため池を売りにするのであれば、人がいつも通れるようにしてほしい。
男性	60 歳代	天満神社の祭りの時、みこしの池への投げ入れの池の水質をよくしてあげてください！
女性	70 歳代	曇川の周辺をよく散歩していますが、くもり川の中を、水のない時でも枯れ草など刈って、すっきりさせていただきたい。
女性	70 歳代	曇川の整備をして欲しい。川の中に草や木が大きくなって水が流れにくい。水が流れるきれいな川になって欲しい。
男性	80 歳以上	町のため池はよく管理されていると思います。川の少ない稲美町の川をきれいにして欲しい。

（34）住民参加・住民協働について

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	町政の課題や今後の展望など、直に接する機会がなく実感がない。住み慣れたまちが衰退していくのは見るに堪えないが、自身が役に立てる場があるのか知り得ない。行政から積極的に住民参加を発信していただけると良いと思います。
男性	70 歳代	モノ言う行政側に対して会話ができる人々の場合、意見ははっきりわかり、行政側もくみ上げることもあるだろうが、モノを言えない、その機会がほとんどない人の場合、行政側もわからない。吸い上げる事ができない。この、モノ言えぬ住民の意見をいかに行政側が伝わるよう努力するかだと思う。行政側も人数等限界もあろうが、できるだけ吸収する機会を増やして欲しい。
女性	70 歳代	住民全体の関わりが少ないと思う（一部の住民の動きで全体を見ていないと思う）。
男性	80 歳以上	このようなアンケート方式で住民の意向を集約もよいが各地域で座談会等による住民の不足等を話し合う場所をつくり町政としてできるよう改善しては？
男性	80 歳以上	住民の生の声 etc を聞くため、各町の施設の誰もが判る位置、公会堂、集会所、スーパー金融機関等に町長への手紙用紙封筒 etc 置くよう提案します。

（35）住民同士の交流について

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	縁の無い（地の人ではない）人が多く移住できるよう、自治会における排他的な思想を排除すべき。移住組と地の人間の確執をやや感じる。
男性	70 歳代	昔から住んでいる人と新しい人との交流が難しい（町道と私道の境界が非常に難しい）。
女性	70 歳代	地域の特性を生かし、活力あるまちづくりのためには、買い物や、仕事で町外からどれだけの人が来て、地域の人と交流ができるかではないかと思う。町の自然環境をフルに生かし、活用する方法を農協だけに頼らない方法を考えてほしい。
女性	80 歳以上	稲美旧住民と新しく入られた方が二分している。

（36）広域連携について

性別	年代	意見内容
男性	60 歳代	稲美町は災害の少ない町です。従ってもし近隣の市町村（播磨町、明石市、加古川市、神戸市等）で地震、津波、川の氾濫等の災害が発生し、行き場を失った人々が多く出た場合、稲美町はその人々を全面的に支援する町と位置づけたらどうでしょうか。具体的には、①空き家を毎年数軒ずつ購入リフォームし、いつでも住めるようにする、②池の水を浄化する設備を導入し、風呂、トイレに使えるように整備する、③近隣の自治体と緊密に連絡し、いつでも支援することを表明する。以上の事を町民、近隣自治体の住民にアピールし、稲美町が安心、安全な町と思われるようにし、移住を促す。並行して交通整備、企業誘致等は積極的に進めるべきと思う。
男性	70 歳代	広域的な行政運営が必要です。公害の調査地球環境変化に対応すべきです。高温化、多量雨の対処方法、気候変動に対処した農業運営（米づくり、野菜づくり）。

（37）文化・芸術について

性別	年代	意見内容
男性	60 歳代	コスモホールの活用を充実させてほしい。稲美町は文化・芸術面での遅れを感じる。せっかく立派なホールがあるのだから、外部からの公演や講演をもっと多く企画してほしい。
男性	60 歳代	芸術・文化振興の拠点、仕組みがない。極めて弱い。

（38）その他

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	LGBT やマイノリティが生きやすい町づくりをしてほしい。
男性	50 歳代	特に大きな不満や問題を感じているわけではないが、特に優れた面も思い当たらない。及第点だが優等生ではない、優等生になって欲しいわけではないが。町外の友人などから、「稲美町は○○やからええなあ」と言われるためにはどんな○○が必要なのか。不満をなくすだけではうらやましがられる存在にはなれない。稲美町にしかない魅力は何なのか。地場産業や特産品などはどこでもやっているが、大きな成功例は少ない。いくら施設を作っても、町外からも利用できるなら住民増には結び付かない。私は稲美町に来て 30 年以上になるが、いまだに「よそ者」感を感じる。これから人口増や住民増を考えるなら、若い人たちがよそ者扱いされないような配慮が必要。そのうえで新しい人たちも一緒になって町づくりをしないと、地元のご意見番の発言力が強すぎればこれからの発展は望みにくい。
男性	60 歳代	通信環境の整備（Wi-Fi の充実等）、電波塔の設置（町内の目印ともなる）。
男性	70 歳代	人権問題に町の貴重な資源（人・金）を浪費するのをやめてもらいたい。一部の組織が騒いでいるだけで殆どの町民は興味を持っていないし、差別意識も持っていない。
男性	70 歳代	地域に密着したまちづくり。

２．結婚・出産に関する調査

※基本的には、記入いただいた意見をそのまま掲載しています。

（１）交通について（公共交通機関の充実、交通マナーの向上、高齢者の交通手段の確保など）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	稲美町内だけでなく、稲美町に入るまでの交通手段が少ないとよく聞きました。
男性	10 歳代	バス路線を延ばしたところで利用者が多く見込めないという事は十分に分かりますが、移動するには自動車が必須で、最寄りの土山駅を利用しにくいという点で住みにくさを感じます。草谷地区のため自転車での移動が辛いというのは少数派の意見かもしれませんが、ここが改善されると更に住みやすい町になるのではないかと思われます。
男性	10 歳代	公共交通機関(特にバス)の充実は必須だと思います。住民の利用しやすい(バス停)場所と時間(1 時間に数本)さえ充実して頂けたら、バス利用者も増えると思います。
男性	10 歳代	通学が不便なので、電車代とか少し負担してくれたら嬉しい！
男性	10 歳代	地域のコミュニティバスの案内があったけれど、使いにくいシステムだと思う。友達と遊ぼうとか、仕事の用事で電車を使うにもその駅へ行くバス停まで歩いて 30 分、バスを待って 30 分…せっかく若い人が住んでも車が無いと何処にも行けない。
女性	10 歳代	バス等の本数が少ないため、交通の便が悪いと感じている。
女性	10 歳代	駅からの交通手段であるバスの本数が少なく、非常に不便である。特に昼や土日の本数が無く、困る事が多い。
女性	10 歳代	もっと通学・通勤に便利な町にしてほしい。
女性	10 歳代	公共交通機関の充実した町になればと思っています。最寄りのバス停や駅が、自宅から遠すぎるのが実情です。
男性	20 歳代	電車が存在せず、バス等も少ないため通勤や通学(大学等)には自動車が必要である。通勤、通学を行う世代への補助等が必要では。
男性	20 歳代	バスの本数を増やして欲しい。明石市のたこバスのようなものが欲しい。若者に対しての稲美町に住み続けるメリットが無い。
女性	20 歳代	駅までの交通手段がなく、通学が不便です。町内全域にバスを運行して欲しいです。土山・東加古川へ行けるバスが欲しいです。
女性	20 歳代	バスの時間をもっと増やして欲しい。１時間に１本や２～３時間に１本なので困る。
女性	20 歳代	稲美町は住みやすい町ですが、交通機関が少ないため、不便です。利用者が少ないバスですが、もう少し時間を増やして欲しい。街灯が少ないので危ない。
女性	20 歳代	交通の便が悪いので、若者の町外への流出が多いと思います。最寄駅(土山・東加古川等)へのバスの本数をもっと増やすべきだと思います。
女性	20 歳代	バスを小型化して加古川、東加古川、土山方面に沢山通して欲しい。
女性	20 歳代	家の近くに電車の駅やバス停が無く、交通手段が車しかない事に困っています。私達世代もですが、高齢者の方も多く今問題になっている高齢者運転の問題も心配です。
男性	30 歳代	電車を利用する際、東加古川駅、土山駅共に自転車で 20 分かけて行く事は学生にとっては大きな負担になっています。稲美町に駅をつくり、電車を通して頂きたいです。
女性	30 歳代	駅までが遠いので、バス停を増やして欲しい。児童手当の金額を上げてもらえると少子化対策になると思う。
女性	30 歳代	とにかく公共交通機関の充実を推進して欲しい。高齢者ドライバーが沢山いる事による運転ミスが大事故につながると日々ニュースでしているのに、稲美町の交通の便の悪さが高齢者ドライバーの免許返納にストップをかけていると思う。公共交通機関がもっと充実し、また小回りのきく送迎等が気軽に使えるようになればもっと住みやすくなると切実に思います。うちも足の悪い姑が車を運転するのをずっと心配しています。本人は車が無かったら、買物もできないので困ると言っています。
女性	30 歳代	小学校等 30 分以上かかる通学をしている子どもたちのために今年の夏だけでなく、スクールバスを出してあげて欲しいです。
女性	30 歳代	とにもかくにも、公共交通機関の充実を求めます。車に乗れない高齢者が増えると移動手段を公共に頼るほかないと思います。
男性	40 歳代	公共交通機関をもっと充実させてほしい(特に鉄道)。車が無いと生活できない。神戸物産の移転も通勤時間帯のバスが 1 時間に 1 本しかないので不便とありました。正直不安しかありません。
男性	40 歳代	23 時くらいまでバスの運行をして欲しい。

（2）道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	道路整備してください。アスファルトがガタガタです。
男性	10 歳代	道路を建設する際に気になる事がある。それは立ち退きを命じられた方の近隣住宅への配慮である。道路を建設するということは必然的に周辺住宅は騒音や排気ガスに悩まされるだろう。そのあたり配慮はなされているのだろうか？
男性	10 歳代	車が走りやすいように道路舗装をしてほしい。
女性	10 歳代	街灯が少ない。狭い道が多いため、車の対向がしにくい。見通しが悪い道路が多いため、小さい子が急に出てきた時危険。
女性	10 歳代	夜暗すぎる道が多いからもう少し明るくなるように(危なくないように)街灯とかもう少しつけたりして欲しい。車がとても通る道なのに、狭かったりして危険な所があったりするからもう少し広くして欲しい。
女性	10 歳代	歩道が少ない。夜道で帰る時、街灯が少ないから暗い所が多い。バスの本数が少ないからもう少し多いと助かる。
女性	10 歳代	街灯を増やしてください。学校の帰り道、暗くて怖いです。道の舗装を綺麗にして下さい。自転車で通ると木の根っことか段差、穴、こけそうです。
男性	20 歳代	通勤や JR 土山駅に行くのに自転車を利用しているので、県道の歩車道分離をお願いします。
男性	20 歳代	たまに車を使うが、南北の道が無いので時間帯によっては凄く混む。南北の道を作って欲しい。
女性	20 歳代	国岡の交差点あたり、車が通る割に道が狭いので広くして欲しい。小学校・中学校が遠い。
男性	30 歳代	道路の整備が不十分過ぎると感じる。狭い道が多く、大型トラックがスムーズに通行できず、危険箇所が周辺の市、町よりも多いため、住民の安全を守るためにも早急なる整備を願う。道路の整備をすることで、企業も進出しやすくなり、町の活性化に繋がると思う。
女性	30 歳代	子どもが学校へ行く時、危険箇所が多い。街灯が少なく暗いイメージがある。道幅が狭くなったり、広くなったりと見通しの悪い所がある。よく事故が起きている所の交通改善に取り組んで欲しい。
女性	30 歳代	とりあえず道が狭い。道が狭いのに農民が我が物顔でトラクターを走らせる時期は邪魔でしょうがない。バイパスが事故渋滞したら稲美町の道はみんな抜け道に使うからすぐ渋滞する。なので道を広くして欲しい。
女性	40 歳代	仕事に行く時とか、買物に行く時に車に乗るので、いつも思うのですが、道路や交差点が雑草でボーボーになっているのを見ると、残念な気持ちになる。せめて稲美町のメインの道路・交差点は定期的に草刈り、カットをして欲しいと思います。
女性	40 歳代	道路の整備をよくしてほしい。自転車も車も走り難い所が多々あります。母里地区の街灯を増やして欲しい。

（3）子育て支援の充実（保育所・幼稚園等の受け入れ拡充、各種サービスの充実など）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	稲美町に住む方が増えている事により、子どもの数も増えています。保育園や幼稚園を増やしてください。働きたくても働けません。
女性	20 歳代	明石市みたいに子育てに力を入れて欲しい。住みやすい稲美町なのにもったいないと思います！子育てに力を入れると若い世代の人達がもっと増えて活発になると思います。
女性	20 歳代	子どもを稲美町で産みたい、育てたいともっと思えるよう子育て支援に力を入れて頂きたい。
女性	30 歳代	幼稚園でも、長期休業中(夏休み等)に保育を実施して欲しいです。日々の預かり保育のおかげで仕事ができますが、長期休業中は仕事を休んだり親に預けないといけなかったりと大変なので、よろしくお願いします。
女性	30 歳代	子育て支援センターを毎日あけてほしい(午前)。
女性	30 歳代	子育てに関しても、出産・乳幼児の頃の助成は普通かと思いますが、子どもが育って

性別	年代	意見内容
		きてからの方がずっと支出・負担が増えます。その辺りの町からのサポートは無いのか、産めば終わりではない。
女性	30 歳代	核家族世帯がどんどん増えていく中で、子育て世帯への支援を充実させて頂きたいです。実家が遠方で、頼れる所が少なく困っている家庭もあります。ファミリーサポートセンターももう少し活用しやすくなればと思います。
女性	30 歳代	私は所謂『アウェイ育児』で日中は『ワンオペ育児』をしています。本来であれば、保育園に子どもを預けて働く予定でした。でも求職中でそれは叶いませんでした。アウェイ育児なので近くに親戚はいません。何かあった時のファミリーサポートさんも今はほぼいらっしゃらないとのこと。とても残念です。稲美町の豊かな自然に惹かれて引っ越してきましたが、アウェイの私達にとってとても厳しい環境でした。『誰でも、誰もが』子育てしやすい環境をもっともっと整えるべきだと思います。せめて託児施設のある雇用の場を増やして頂きたいです。働きたくても働けない人がいる現実をもっと見て欲しいです。

（4）商業施設等の充実（スーパー・コンビニ、大型施設等の要望）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	ショッピングモールが欲しいです。
男性	10 歳代	本屋を作って下さい。
男性	10 歳代	稲美町には僕が知る限り『娯楽施設』がほぼありません。そして、消耗品や食料品等を売っている店は沢山ありますが、『本屋』『電化製品』等無いので増やして頂ければ嬉しいです。これは町政がやる事か分かりませんが、もっと様々な店が稲美町にあれば生活しやすいです。「稲美町と言えばここ」となる場所を知らないので教えてください。
女性	10 歳代	稲美町に駅を作って欲しい。ショッピングモールがほしい。公園が汚い。道路が危ない。
女性	10 歳代	個人的に私が住んでいる近くにコンビニ等のお店が無く、これが欲しいと思っても早くても 5 分以上はかかります。不便に思うので、働き手等足りないとは思いますが、ご検討よろしくお願いします。
女性	10 歳代	公共交通機関をもっと便利にして欲しい。大きな商業施設などをつくってほしい。買物をもっと便利にしたい。
女性	10 歳代	カラオケ店等の娯楽施設が少なく、遊べる場所が無いので楽しめない。勉強するにも 1 つの事を詳しく学ぶなら町外にいくしかない。町を PR する前に住民にこの町を正しく知ってもらう事が大切。そうすれば協力を求めることができる。小さなうちは、公園で遊ぶだけでも満足だが公園までも高齢者の遊び場となり、子どもが使えない。人口の減少を防ぐためにも子どもを尊重する必要がある。地域を盛り上げるには若者の協力が必要不可欠であることから、若者から好評を得られる施設を充実させるべきだろう。
女性	20 歳代	若者が集まれるスーパーだったり、施設がもう少し増えると嬉しいです。
女性	30 歳代	母里地区は農業に力を入れ過ぎて、スーパーや大きな商業施設が無いので、将来車の免許を返納した時に不安を感じるし、何の楽しみも無い。結局加古川市や三田市や三木市の商業施設で(40 分～1 時間かけて行けるので)沢山のお金を使って帰るので稲美町ではあまり買物をしない。国岡にお店がかたまりすぎて、稲美町全体の利便性の偏りが酷過ぎる。コロナの助成金にお金を使うなら、全体の事を考えて欲しい。
女性	30 歳代	加古地区に住んでいて、本当に不便に思っています。近くにスーパーもないし、バスは遠いしコンビニも遠い。どこに行くにも車が無いと不便で子どもが大きくなったら稲美から出るつもりですが、スーパーやイオンや遊べる所が無さすぎるのでつまらないといつも思っています。神戸に住んでいる友達が本当に羨ましいなと思ってしまいます。
女性	40 歳代	近くにスーパー、コンビニ等が無いので不便です。明石市が若い世代を取り込む事に成功しているので、真似してみては？

（５）公園・緑について（公園整備、公園の設備整備など）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	緑を大事にしてください。
女性	10 歳代	国岡の公園は存在意義が無い。
女性	10 歳代	鉄棒のある公園が欲しいです。
女性	10 歳代	弟が幼いのですが、下草谷には公園が近所に１つしかなく、また少し遠いのでずっと同じ公園なのは飽きるだろうし、少し可哀想だなと思います。
女性	30 歳代	住宅地に新しく公園はできて良いとは思いますが、子どもが楽しく遊べる遊具が少ないと感じます。中央公園も木が多くて自然が多いのは良いと思いますが、もう少し手入れして欲しいです。遊具も古い物ばかりです。子育て世代に転入してきてほしいなら、公園を綺麗にして欲しいです。

（６）環境・ごみについて（ごみ収集に関すること、野焼きに対する意見など）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	田畑ですぐ燃やすのはやめて欲しい。肥料の臭いが気になる、住みにくい、不便。
女性	30 歳代	ゴミの収集もペットボトル、空き缶、燃えないゴミの回収が来ないのが不満。
女性	40 歳代	天満大池公園の周辺をよく散歩しますが、公園利用者のマナーが悪く、憤りさえ感じる事が有ります。大声や奇声を発したり、花火、爆竹を鳴らしたり、ずっと駐車(停車)している車、道路を占領して停車したりしています。治安が悪いとまでは言いませんが良いと思えないぐらいの時もあります。今後、住民が安心して過ごせるように巡回パトロール等の実施を始め、保安態勢の強化等、配慮して頂きたいと思います。
女性	40 歳代	近場でゴミや草か何か知りませんが、焼いて臭いです。洗濯物も外で干せません。どうか焼いたりするのを禁じて下さい、迷惑です。遠くで焼いても風にのってきます！

（７）広報・情報について（住民への情報提供の充実、町外へのまちのＰＲなど）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	農業と高齢者の町という印象が強い、変えて欲しい。ため池の PR の意味が分かりません、誰が興味を持つのでしょうか。何も自慢できる所がありません、都会の良い所は見習ってほしい。
男性	20 歳代	近年、町花のコスモスを体耕田に植え観光できるようにしている所があるが、もう少しメディア等への宣伝を行ってはいかがでしょうか？大々的に行い、地域ブランドの農産物をアピールするチャンスだと思います。他地域の知人に写真を見せるとよく驚かれます。いなっちの他にコスモスのキャラクターでも募集しては？インスタスポットで有名になるかもしれません。
女性	30 歳代	町のホームページが見にくい、知りたい内容の検索がしにくい。
女性	30 歳代	この度の新型コロナウイルス流行において、稲美町ではどのような対策・支援が行われているのか全く情報が入って来ない時期があり、情報発信の方法をもう少し増やして欲しいです。インターネットが使用できない環境でお住まいの方がいらっしゃいます。緊急事態が発生した時に対応できるように備えておくことも大事だと思います。
男性	40 歳代	稲美町の良さを SNS、Youtube、Vtuber(キャラクター)等を使って情報発信。紙よりもコストは抑えられると思います。大変厳しい内容、無理な事を書いていますが、50 年、100 年先も稲美町が存続、発展するように町運営をお願い致します。

（8）雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、企業誘致に対する要望など）

性別	年代	意見内容
男性	20 歳代	様々な社会情勢に対応できるように民間企業の発展にもしっかりと対応していただければ更に良い町になると思う。
女性	20 歳代	雇用が少ないので、働ける場を増やして欲しい。
男性	30 歳代	町づくりに関して、大学を卒業時に、まず問題となるのが町内に有力な就職先が無いという事である。これではいくら教育に力を入れて子育てに補助を出したところで、将来的には有能な人材ほど外に出て行ってしまうだろう。最近では、神戸物産が交通の利便性の問題等もあり本社を移転してしまう事になったが、このような有力な企業をつなぎ留められないようであればダメだ。公務員がベストな選択肢となってしまうような町では将来性が無い。
女性	30 歳代	働く場所が少ない。

（9）自治会活動・地域活動について

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	自治会って必要ですか？役員も高齢化が進み、活動を軽減するとかは無理ですか？生活するのも大変なうえ、子どもの世話、仕事、家事、役員、今の時代に合った活動にして欲しいです。稲美町が先駆けて自治会が無くなる方向にしていくと人口は必ず増加すると思います。
女性	30 歳代	自治会の事ですが、自治会費が高い。何に使われているのか分からないのに、月 3000 円も払う必要はあるのか。ゴミの収集もペットボトル、空き缶、燃えないゴミの回収が来ないのが不満。土地が余っているのなら、色々なお店を作って欲しい。家ばかり建てても不用。

（10）アンケートについて

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	稲美町の行政等について全く知らなかったので、このアンケートを機に情報を得るようにしたいです。
女性	10 歳代	インターネットの普及が進んでいるのにも関わらず、紙でのアンケートは時間や手間がかかり効率が悪い。稲美町の行政施策を感じる事が無い。

（11）医療について（医療機関の充実（特に小児科、産婦人科等）など）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	高校生まで医療費無料化にして欲しい、高校生まで児童手当を支給して欲しい。
女性	30 歳代	不妊・不育症治療費助成に関して、体外受精等のみではなく東京都のように不妊検査等助成事業等も取り入れてもらえたら大変助かります。体外受精は勿論高額ですが、それまでの検査も高額で自費になるので…。こども医療費助成制度で中学 3 年まで無料なのは本当に有難く思っています。ありがとうございます。
女性	30 歳代	産婦人科が無いのが不便です。

（12）上下水道について

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	水道料、下水料が高い。水道水の水質が悪い(銅等が多すぎる)。
女性	20 歳代	水が美味しい所は凄く有難いと思っています。いつもありがとうございます。
男性	30 歳代	理想論にはなりますが、稲美町に自然で美しい、美味しい水があるか流れていたらなあと思います。

（13）市街化調整区域について（区分の見直し、住宅が建てられないことなどについての意見）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	『調整区域のために新しい家を建てる事ができない…』のであれば、人口が増えるのも難しいかと思います。私の家の辺りは調整区域です。家を建てたくても建てられない…とよく聞きます。家が建てやすい環境に少しでもなればと思います。その他では稲美町は親切だなあ！と思う事も多いです。これからも永く住みたいと思います。
女性	30 歳代	市街化調整区域に住んでいます。子どもの同級生が一人もいません。新規居住者をもっと増やすべきだと思います。

（14）学校・教育について（学校設備への要望、教育の質の向上、など）

性別	年代	意見内容
女性	10 歳代	稲美中学校と北中学校の教育を平等にして欲しい。稲中の不登校に対する扱いが酷い。教育面に不安を感じる。
女性	30 歳代	天満小学校区が広すぎて生徒数が多いので、他地区の小学校と比べて学校教育が手薄になってしまっているように感じます。校区の見直し、他校区への入学自由化等も考えて頂けたらと思います。
女性	30 歳代	学校の開放がもっと積極的に行われて、皆が集いやすい身近な場所になってくれることを願います。

（15）人口減少について

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	加古・母里の調整区域の事、他校区に比べて著しく子どもの数が減っている。家を建てにくい事が大きく関係しているように感じる。
女性	30 歳代	今の子ども達が大人になった時、今の稲美町にこのまま居るかと考えると、いないと思う。昔のまま変わっていないというのは美徳ではない。働く世代にとっては時間の拘束はストレスであり、地域のイベントとか無くていいと私は思う。PTA とか入会するか否かの意思確認すらない。この時代の流れを分かってなければそりゃ人口は減るのみだと思うし、私も子どもが外へ行くのは止めない。

（16）その他施設について（公共施設に対する要望など）

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	公共の場でのトイレの全整備。
男性	10 歳代	誰でも気軽に利用できる施設があるのに、あまり活用しきれていない。もっと宣伝し、沢山の人に利用してもらえるようにする必要があります。（例：図書館、水辺の里公園、天満大池等）

（17）農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	稲美町は自然が豊かで、水と空気が綺麗で、お米も美味しいので観光業と農産業を中心に町外や県外に PR して欲しいと思います。若い世代には SNS を通して、綺麗な自然やおしゃれなカフェ、観光地をアピールし、そこで稲美町産の農産物も宣伝できれば若者の誘致にも繋がると思います。
女性	30 歳代	稲美町のブランド商品が増えると良いと思います。

（18）地域格差について（中心地のみが栄えている、といった意見）

性別	年代	意見内容
女性	10 歳代	一部の地域だけじゃなく、地域全体を見てしっかり考えて下さい。そしたらもっと稲美町は変わっていくと思います。信じています。
男性	20 歳代	結局住みやすいのは国岡とかの一部の人たちだけで、母里地区は住みにくい。交通は発達していないし飲食店もない。住もうとは思わない、若い人にも不便だし年をとってからも不安。
女性	30 歳代	稲美町を『住みよい町だ』と思うのは、国岡等の町の中心部に住まわれている方ぐらいだと思います。中心部の開発はどんどん進んでいくのに、母里地区・加古地区はいつまでも不便です。特に母里地区は普段の買物にすら困るような状態です。地区による格差をなくして欲しいと願います。

（19）住民参加・住民協働について

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	自治会の力が強すぎるのでは？人口を増やして活性化したいのであれば、若い世代を行政の中心に置く、国際的人材を本気で積極的に取り入れるべきではないでしょうか。広い視野を持ってください。
女性	40 歳代	心から稲美町(わが町)を良くしていこうと思える人が増える事を願います。

（20）行政及び役場職員等への要望

性別	年代	意見内容
女性	40 歳代	人が減っているので、もう少し臨機応変に要らない役等を町内で列挙してもらい、少しずつ無駄な仕事を無くす事はできませんか？皆が仕事や家庭の両立で我慢して役員の仕事を引き受ける中、消防を始め色々な役を人に押し付けておいて、自分や息子には嘘の理由ばかり並べて逃げてばかりの○○○の町職員をまずどうにかしてから町民に要請して下さい。
女性	40 歳代	働く世代の事を考えて役所の窓口を土曜日午前中だけでもあけてもらえると手続きしやすく、住民のためになるのでは。

（21）税金・自治会費について（税金が高い、自治会費が高いなど）

性別	年代	意見内容
女性	10 歳代	住民税が高いです。
女性	40 歳代	稲美町は高齢者が多いため、年金代が高い。私たちが年を取った時には年金は貰えるのだろうか？水道代・電気代を安くして欲しい。
女性	40 歳代	高齢者や子どもに対する支援は国から保証されているが、独身で尚且つ、税金をきちんと納めている者に対して何か支援があっても良いと思う。『引きこもり』や『身体は健康なのに働かない人たち』に支援はやめて欲しい。きちんと労働し、税金を納めているのがバカバカしくなる。

（22）高齢者福祉について

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	敬老会は廃止した方が良いと思います。高齢者が増えているので、祝品もいらないと思います。
女性	40 歳代	医療・介護を中心にまちづくりをしてほしい！稲美町は、孤独死が起きないように地域一丸となって１人暮らしの人達に声をかけられるような町をつくって欲しいです。今独身の人が高齢になった時のサポートを今から考えて！

（23）土地利用・土地開発について

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	この 20 年で農地から宅地が増えて、一部地域では人口が増えていますが、生活に必要なインフラが整っていない、また無理な農地から宅地へ転用が多い。道路幅が狭い。緊急自動車が通れない道がある。規制が必要と思います。
女性	40 歳代	ため池に土地利用しすぎていて、自然の美しさ不足と感じる。

（24）コロナ対策について

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	コロナ第 1 波の時のマスクの配布は遅すぎでした。若い世代はインターネット等で探したり取り寄せしたりできると思いますが、高齢の方はお店を何軒もまわり探していたと思います。せめて高齢の方には早めに配ったりして欲しいと思いました。
女性	30 歳代	コロナ禍の今、インフルエンザの予防接種に関して、高齢の方、乳幼児、妊婦、小学校低学年の子どもに対して助成や希望者が優先的に接種できるようしていただきたかったです。少なくとも小児科での予防接種の予約がすぐいっぱいになり、かかりつけ医で受けたくても受けられず、不安になっている方が周りにいらっしゃいます。インフルエンザの予防接種を乳幼児が接種できる病院の拡充もお願いいたします。稲美町でよかった！と思えるような町づくり期待しています。

（25）文化・芸術について

性別	年代	意見内容
男性	10 歳代	播摩町のように、外でもバスケットボールができるようなコートや強化チームが欲しい
男性	30 歳代	稲美町にではないが、せっかくチェント・クオーレ・ハリマというＪリーグ加盟を目指すクラブがあり、稲美町も対象地域に入っているので、このクラブの試合を稲美町で観てみたい。色々クリアにしないといけない課題があるけど、やはり自分の住んでいる町が絡んでいるクラブがあるので、応援したい気持ちがあります。残念ながら自分はまだサンスポーツランド稲美に行ったことがないので、どういう状況なのかは知りませんが、この町の農業の分野の特徴を生かし、芝生のピッチが完成すればサッカー好きはやはり芝生の上でサッカーがやりたいと思うので、ご検討いただけたらと思います。後は BANBAN を無料で視聴できるようになれば良いと思います。（以前自分が住んでいた違う県ではコミュニティのテレビが無料でした。）

（26）農業の振興について

性別	年代	意見内容
男性	20 歳代	高齢化が進み、農業関係者や老人に有利な政策ばかりが推進されるようになってしまった。若者は『帰って来よう/居続けよう』とは思わない自治体となってしまった。何とかして下さい。
男性	30 歳代	農業を推しているが、若者には響かないと思う。自分の生活がいかに充実するかどうかだと思います。

（27）住民同士の交流について

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	秋祭りやコスモス畑、水田の里公園での流しそうめん祭り、収穫祭は多くの世帯が集まり関わる事ができて子どもも親もとても楽しく参加させてもらいました。
男性	40 歳代	各世代別でのコミュニケーションの場が少ないと感じています。

（28）空き家・空き地対策について

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	空き家を活用した、おしゃれな古民家カフェを作って欲しい。

（29）自然・景観について

性別	年代	意見内容
女性	20 歳代	最近の稲美町は田畑が住宅になっている所が多く、ため池にはソーラーパネルがあったりと数年前には無かった都市化している部分があり、少し寂しいです。加古方面には美しい田園が広がっていますが、国岡付近はただの住宅地になってしまい人が増えているのは良い事だと思うのですが、稲が美しい町というのは名前ばかりになってきていると思います。

（30）町長、町議会について

性別	年代	意見内容
女性	40 歳代	町議会議員もあんなに多数不要。古くからある地域出身の町長ばかりなのも気になる。もっと新しい、力のある人に町長になって欲しい。街灯を増やし、安全で住みやすい町にして下さい。

（31）障がい福祉について

性別	年代	意見内容
男性	40 歳代	自分が障がい者になって、親が高齢でこの先仕事等の問題があり、税金等の問題も出てくるのでそこらを(ちなみに独身です)踏まえた町づくりをお願いします。

（32）防災対策について

性別	年代	意見内容
男性	30 歳代	防災のため、廃屋の撤去・整備。

（33）防犯対策について（カメラの設置など）

性別	年代	意見内容
女性	30 歳代	街路灯が少なく、危ないです。住宅が『立ち並んで』いるような所の細い道等でスピードを出して走る車も非常に多いです。夜だと痴漢等の迷惑行為も発生しています。自転車で走っている時に後ろからバイクで近づかれ、身体を触られるといった、被害届を出すほどではないけど不快な思いをされている方は多いと思います。私も被害に遭った事があります。

（34）周辺市町村との合併の要望

性別	年代	意見内容
男性	20 歳代	神戸市との合併を視野に入れるべき。加古川方面よりも西神・神戸・大阪方面の結びつきを強めた方が子育て世代が増加し、税収も増える。地下鉄はおろか、バスで西神に行く事さえ不可能な現状をどうにかして欲しい。

（35）その他

性別	年代	意見内容
男性	20 歳代	ベットタウンとして快適な環境を求む。
男性	30 歳代	観光名所を作って下さい。

３．進路に関する調査

※基本的には、記入いただいた意見をそのまま掲載しています。

（１）交通について（公共交通機関の充実、交通マナーの向上、高齢者の交通手段の確保など）

性別	意見内容
男性	公共交通機関の充実を希望します。私の家から最寄駅(土山駅)まで車でも約 30 分かかり、最寄のバス停まで徒歩で 10 分以上かかります。今となっては免許も取り、不便さは感じませんでしたが、小・中学生の頃は非常に困りました。書いていて意見が変わったのですが、稲美町は現代のような都市化ではなく従来のような町の方が活性化するのではないかと考えます。
男性	稲美町は交通手段が車か自転車くらいしかないので非常に不便。加古地区に関しては街灯が少なすぎる。1 つもない所は夜が怖い。
男性	稲美町は移動するのが不便だと思います。生活する上で車は欠かせないので、バスなどの公共交通機関を増やすと良いと思います。
男性	公共交通機関の便利さが悪い。そこのへんをもう少し充実させる事ができれば、稲美町はもっと復興すると思う。
男性	個人的に交通手段を改善して頂くととても助かります。私は東加古川駅を利用するため、そちらの方面の便を作って頂くか、土山駅への本数を増やして欲しいです。しかし駅に関しては加古川市や播摩町、神姫バスの事情で困難だと思いますが、困難な理由を教えていただけるだけでも助かります。
女性	まず第一に公共交通機関が少なすぎると思います。学生の立場から言うと、交通手段が少なすぎるのが原因で通える高校や大学が限られてくるのも大きな問題かと思います。実際私は大学に進学したら一人暮らしをしたいと考えております。なぜなら実家から最寄駅まで自転車で 40 分かかるうえ、バスの本数が少ないため、通う事は現実的でないと思ったからです。このように考える友人も周りに多くいるので、人口流出の大きな原因になっていると思います。また、高齢者にとっても交通機関を充実させる事は非常に重要だと考えます。お年寄りの方は車を扱う事が難しくなっていくからです。稲美町は非常に『都会(まち)』に近く、それでいて自然が多い素敵な町だと思います。交通機関を充実させさえすればもっと発展していくに違いありません。前向きに、そして早急に対応してくださる事を期待しております。
女性	バスの本数が少なすぎる、電車の最寄り駅が遠い、車が無いと何処にも行けない(大学・高校も遠い)とにかく不便。このままでは若い人がどんどん出ていってしまうと思う。
女性	町外へ通学する学生は多いため、バスの本数を多くする、通学料金を安くしてほしい。自転車を利用する学生のために、自転車用の交通整備をして欲しい。地域の観光を活発化し、他県から来る観光者を増やし、稲美町が自然にあふれた良い町と知って欲しい。母里地区にもちょっとしたショッピングモールがあると交流の場にもなり、買物の利便性が高まる。高齢者が気軽に買物できる場が欲しい。高齢者の介護予防に力を入れて欲しい。元気な高齢者が多くなって欲しい。
女性	まず車が無いと医者にもスーパーにも行けない状況が将来住む町として無理。
女性	通勤・通学に不便である、土山駅までは渋滞やバスの時間が 1 時間に 1 本である。母里地区は不便である。老後を考えて生活できるか不安である。
女性	母里地区はバス停が少ないから、バス停を増やして欲しい。道が混む所に信号を付けて欲しい。信号の青の時間を長くして欲しい。自転車が通りにくい道が多い。道幅が狭い。
女性	バスが 1 時間に 1 本しかないのが不満、たこバスは 100 円なのに、100 円でバスに乗せてほしい。
女性	バスの本数を増やしたり、交通の便をもっと良くして欲しい。街灯が少ない(特に田んぼの周り)ので増やして欲しい。
女性	駅の開発をして欲しいという要望です。私は現在県内のある国公立大学を目指して勉強中ですが、志望理由の 1 つとして、『通学時間が短くて済む』というのがあったからです。自宅から駅までの距離が近くないため、片道 2 時間以内で考えると、どうしても通える範囲が限られてしまいました。通学に不便だからという理由で若者が町外へ多数転出してしまう事も予想でき、私はそれを恐れています。またバスやタクシーは利用料金が非常に高いため、避ける人が多いです。以上の理由から、私は稲美町に駅の開発を進めて欲しいと思っています。地下鉄でも構いません。

（２）道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）

性別	意見内容
男性	街灯が少なく、夜になると暗すぎる所があるのでもう少し街灯を増やして欲しい。
男性	小学生とその親が右側通行をしており、自転車での通学の邪魔、それに危ない。とても邪魔です。
女性	もっと交通道路を広くしてほしい。
女性	歩道や道路の端の整備をして欲しい。(自転車が通る)
女性	土山駅は学生等利用する駅なのに、行くまでの道が狭すぎて危ないので、もっと広くしたり歩道を作って欲しいです。自転車も歩行者も道路を通っています。頑張って下さい！
女性	自転車が安全に通れる道を作って欲しい。
女性	道路が、通勤・通学時に危険な所が多いと感じます。例えば、相ノ山信号～岡信号までの道路、天満神社前信号～国岡信号方面への道路等です。自転車に乗っている高齢者はふらついていることが多く、運転していると道路は細く、歩道もないので危険だと感じる事があるので、是非自転車も歩行側歩道を作っていただきたいです。

（３）商業施設等の充実（スーパー・コンビニ、大型施設等の要望）

性別	意見内容
男性	国岡あたりにもっと店があれば良いと思う。レジャーできる場所もあれば良いと思う。
女性	生活用品、食料品等がすぐに買えるようにお店を増やして欲しい。(コンビニ・スーパー等)近くに欲しい。
女性	加古地区は商業施設が少なく(特にコンビニ)、徒歩で行くことができる範囲にないので非常に不便であるので改善して欲しいです。また、私の家から最寄駅まで自転車で 40 分かかるので学生としてはとても辛いです。
女性	もう少しどこの店でも電子マネーを使えるようにして欲しい。
女性	稲美町には本屋が無く、資格等の参考書を購入する際には隣町に行かないといけないので不便です。稲美町立図書館では限度があるので書店の設置をよろしくお願いします。
女性	同世代の友人や、私自身も Instagram の情報から何処かへ出かける事が多いです。最近では『イナミスト』というワードも耳にするようになりました。豊かな自然を保全しつつ、商業施設(カフェ等)を支援していけば、より地域が活性化すると思います。

（４）子育て支援の充実（保育所・幼稚園等の受け入れ拡充、各種サービスの充実など）

性別	意見内容
男性	もっと明石市のように子どもに支援をして欲しいです。
女性	少子高齢化を少しでも緩和するために、20～40 代への税金の還元(子育て支援、イベント等)を行い、若い人も住みやすい町づくり。
女性	子どもの医療が無償というサービスは素晴らしいと思います。私も中学生の頃、このサービスのおかげで治療を満足に受ける事ができました。これからもこのサービスを続けて貰えば稲美町に関心を持つ人が増えてくると思います。

（５）環境・ごみについて（ごみ収集に関すること、野焼きに対する意見など）

性別	意見内容
男性	ゴミの回収等、名前・番号を書くのが非常に手間。町内の道路にセンターラインを引いてほしい。
女性	太陽光パネルを池に浮かべていて、ため池らしくないと思います。太陽光パネル設置スペースのためにため池を埋めて、そこの土地を活用するのは自然が崩された気分で悲しいです。
女性	週に何度も色んな場所で草等が燃やされている。何も言われずに燃やされるので、洗濯物も家の中へ入れる事ができず、煙臭くなってしまう。草等を燃やしたり農薬を撒いたりする日を決めるなど対策をして欲しい。
女性	野焼きを禁止して欲しい。通学中に煙を吸った事で息が苦しくなり、また靴や制服、髪についたにおいがなかなか取れず、何度も嫌な思いをしました。自宅でも洗濯物が全て洗い直しになりました。広範囲に影響が及ぶ一種の公害と言えます。禁止して頂けると有難いです。

（6）広報・情報について（住民への情報提供の充実、町外へのまちのＰＲなど）

性別	意見内容
女性	稲美町として行っている政策や活動はあまり知らないので、自分から情報を取りにいっていないのもあるが、沢山情報発信を行うともっと良いと思います。
女性	稲美町出身で活躍する人たちをもっと応援してもらえ、もっと広報してもらえると嬉しいです。

（7）公園・緑について（公園整備、公園の設備整備など）

性別	意見内容
男性	スケートパークをつくってほしい。城ノ池公園の照明を増やして明るくしてほしい。全体的に稲美町は街灯が少なく夜は暗すぎる。もっと明るくして下さい。
女性	公園の整備があると良いと思います。

（8）農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）

性別	意見内容
男性	農産物のブランド化、そこからの雇用創出と農業の担い手育成が必須になってくると思います。観光等ではなく、農産物において地域外の方にもファンを作るため PR してみてはいかがでしょうか。
男性	自然を守って発展していってほしいと思っています。観光業というのはあまり稲美町では向いてないと思っているので、今インターネットが普及しているので稲美町の特産品をインターネットでも販売していくのが、これからの時代に合っていると思います。『いなみメロン』等、とても需要あると思います。
女性	小学校の給食で食べた稲美町産の野菜は凄く美味しいので(ふぁーみんでも買います)一番のアピールポイントだと思います。『にじいろふぁーみん』等で販売されていますが、もっとネット等を利用してセールスしていくと、稲美町について殆ど知らない方でも気軽に購入できるかと思います。

（9）行政及び役場職員等への要望

性別	意見内容
女性	役場の人は不親切な人がいる。福祉の人が不親切だと思う事がよくある。
女性	若い人でも住みやすい町にして欲しいです。分からない事を優しく教えて頂ける役場を望んでいます。住民も行政もリスペクトしましょう。

（10）住民同士の交流について

性別	意見内容
男性	中～高校生が参加できるイベントが少なく、また興味を引くものが少ないと思います。
男性	時代が進むにつれて町自体も新しく変わったり、町の特色を活かして住みたいと思ってくれる人を増しましょう。若者の意見ではありますが、祭りや町のイベントを見ても少し物足りなさがあるように思えます。コロナを見ても少し物足りなさがあるように思えます。コロナの影響で良くも悪くも時間ができたので考え直したりしてみてはいかがでしょうか？
女性	もっとイベントを増やして、地域の人たちと関わる機会を増やしていったらいいと思います。

（11）雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、企業誘致に対する要望など）

性別	意見内容
男性	稲美町に働き場が無く若者が働き場を求めて移住しているのが現状なので、まず若者のためではないが働く場を与える事によって少しは活気ある町になると思う。

（12）医療について（医療機関の充実（特に小児科、産婦人科等）など）

性別	意見内容
女性	医療施設が少ないです。高齢者も多いので、もう少し増やすべきだと思います。救急医療も加古川に頼りっぱなしで良いのでしょうか。ご検討をお願いします。

（13）その他施設について（公共施設に対する要望など）

性別	意見内容
女性	学生の立場から、学生が勉強に励む空間があったらな～と思います。加古川市役所にはフリーフロアがあって加古川東・西高、他学校帰りの学生が多く、22 時迄利用しています。フリーフロアがある事で年齢問わずに交流できます。図書館ではなく、勉学に励める空間を庁舎内に設置して欲しいです。私もよく利用しました。

（14）地域格差について（中心地のみが栄えている、といった意見）

性別	意見内容
男性	天満地区に住宅や医療機関、商業施設が偏り過ぎている。
女性	天満校区ばかり都市計画が進み、人口が多くなり、天満小学校の人数が多すぎる。中村や向山、西和田、西山は天満南小学校へ通学する方が通学も安全。生徒数もバランスが良くなるのではないか。

（15）自治会活動・地域活動について

性別	意見内容
女性	子ども会、祭り、自治会の集まり等の行事等嫌なので、この先住み続けたいとは思いません。

（16）アンケートについて

性別	意見内容
女性	このアンケートですが、できれば紙ベースではなく、PC 等でできるようにして欲しい。

（17）学校・教育について（学校設備への要望、教育の質の向上、など）

性別	意見内容
女性	小学校・中学校・高校と稲美町内でしたが、学校の設備が悪いと思われます。立て直し工事等した方が良いと思います。

（18）人口減少について

性別	意見内容
男性	新築住宅が偏り過ぎだと思います。僕は母里地区で地区の子どもの減少が気になります。青年・老人の方々ばかりでは母里地区の活性化が途絶える気がします。天満地区の一部では、住宅も増加し母里地区より人口も増え、賑わいがあるように思います。住宅環境を考え直して、子ども達が増加していく事を希望したいです。

（19）高齢者福祉について

性別	意見内容
女性	高齢者の介護予防に力を入れて欲しい。元気な高齢者が多くなって欲しい。

（20）コロナ対策について

性別	意見内容
女性	コロナの際に支援金やマスク等の準備や行動がとても早かったことはとても助かりましたし、稲美町に住んでいて安心しました。ありがとうございました。

（21）町長、町議会について

性別	意見内容
男性	行政を身近に感じる事がない。まともな町議会議員が少ない。

（22）その他

性別	意見内容
男性	まだ高校生で町づくりについてよく分からないですが、より良くするために頑張ってほしいと思います。
女性	国勢調査の回収について、紙での回収は 10 月からとなっているにも関わらず、9 月の 4 連休明けに取りに来られました。全国共通の事だと思うので守って欲しいと思います。
男性	明石市は近隣だが最近凄いなと思う。

４．事業所調査

※基本的には、記入いただいた意見をそのまま掲載しています。

（１）道路整備について（幹線道路の整備、歩道・自転車道の確保など）

意見内容
交通のインフラ整備。道が狭い、行き止まりが多い、道路計画がどうなっているのか分からない。道路計画の進捗が知りたい。
インフラの整備。特に『土山駅』周辺の整備をお願いしたい。
工場団地の整備、道路整備、若者世代への厚遇。
高速道路を早くつなげて下さい。お願いいたします。
交通量の割に道が狭い、大型車両によって渋滞が発生する事も多い。
土山駅北側の整備(道路の拡充)。県道、六分一～加古線、六分一母里線の朝夕の混雑の解消。
道路整備を進めて欲しい。例えば補装の痛みの早期改修、交差点の拡隔や右折レーンの設置、車道と歩道の分離等。
道路の整備。(道幅、歩道)
道路の積極的な整備。
働きやすい環境整備とありますが、新しい播磨道路が交通便で良くなっているが、そのためにのどかな町道に大型自動車が増えて道はガタガタである。あわや交通事故で町民の生活が危ない所が増えています。道路側にある家から車を出す事も危なく、また車の中からゴミのポイ捨てが増えています。産業を復興させる前に、道路の整備をして欲しいと思います。
歩行者や自転車等の安全に配慮した道路の設備。
マックスバリュー近くの歩道の整備に力を入れて下さい。車が多いので危なくて歩けない。

（２）土地利用・土地開発について

意見内容
稲美町では制度の規制があるため、事業用地として利用しにくい。
稲美町発展の最大のネックは何かにつけて土地利用の規制です。何をするにももっと規制を軽減すべきです。この辺を緩和すれば、稲美町全体が見間違えるように変貌すると思います。
市街化調整区域が多すぎて、何もできない。特例があっても規制が強すぎる。弊社としては更地の雑種地で資材置場が欲しいが、田を手放しても良いと言われている人のあっせん等していただければ土地を探しやすい。今は１つ１つ電話で聞くしかないので難しい。
市街化調整区域の緩和。
市街化調整区域を柔軟に商業・工業地に転換する施策が必要。
町内移住の安易性、建設のための土地利用の在り方。
町内居住人口が増えれば色々な分野に良い波及効果がでてくる。ところが、調整区域の縛りがあり、住宅の新築が進まない。特区を設け住宅を建てやすい環境づくりが必要と思います。
農地の活開をもっと幅広く行うべきなのではないか。営農組合も地域によって差が大きく、上手くいっていないように思う。農協だけでは無理があり、民間の参入が必要である。
遊休地の有効活用を都市計画のプランに入れる。(例) 調整区域内の未利用地の活用。

（３）雇用・企業誘致について（雇用の場の確保、事業所への支援、企業誘致に対する要望など）

意見内容
大きな企業の支店を増やす(車での交通の便が良いので) 。
企業誘致(特区の活用等)。
雇用に対する情報を知らせて貰えたら、ありがたいです。ハローワークもいいのですが、直接求人等、稲美町として取り上げて頂ければと思います。
就職あっせんが必要と考えます。大阪市でも今回、民間企業とタイアップして就職した方に支援金を支給(採用した企業に対して)する等、雇用確保に力を入れて欲しいです。
好アクセス立地での工業団地等建設誘致、好アクセス立地での観光地化(アトラクション施設等誘致)。
税金を安くし、誘致をしやすくすると良いと思います。
とにかく人を寄せてほしい。住人でも観光客でも老人でも子どもでも、何かに特化した形でも良いので人が集まる町にしてほしい。神戸、姫路はもちろん県外から来るよう。観光の目玉、特産品、特定の人への

意見内容
税制優遇、大型の企業誘致等、稲美町として人を集める方法を考えてほしい。
優良企業の誘致。働きやすい環境＝住みやすい環境だと思うので、そちらの整備も併せてやっていただきたい。
若い人が働いて住めるようにして子どもがいるような社会。若い人が働く所が無い。安価に暮らせる住宅・宅地が無い。
当地は住宅に適している充分な土地がある。また、自然に恵まれ災害も少ない。不足しているのは人口が少なく、商業施設が充分ではないということである。住民の文化に対する意識は高く、施設も備わっている。テレワーク等都会の移住者を呼び込める土地になるのでは？環境を備え、魅力ある町にして欲しい。

（４）交通について（公共交通機関の充実など）

意見内容
公共交通の利便性を良くする。
車通勤以外の交通手段が無いため、駐車場と事務所の環境の整備。
交通機関を増やして、都会からでも通勤ができるようにする。
交通の便が悪すぎる。年寄りは住みにくいので都会へ移りたくなる。
バス等がもっと使いやすければ、通勤手段を選べる。
神戸市からの地下鉄延長を望みたい。
公共交通機関を増加して便利にする。
広い土地を利用して、工業と住宅集落を作って、交通の便も大きなバスではなくワゴン車等、老人が多くなっているので、引きこもらないよう、『たこバス』のようにどこでも行けるようになれば良い。
最寄り駅(土山、東加古川、加古川、尼崎等)からのアクセスを良くする。自然豊かな環境を保ちつつ、人が集まるエリアをつくる。

（５）農産品・特産品について（特産品の開発、稲美ブランドの開発、周知・ＰＲなど）

意見内容
情報の発信。農産物とか、良い物があるが、名物と呼べる物が分からない。
稲美ブランドの立ち上げ。何年か前にキャベツでギネスブックに載ったような。そんな特産品をつくれば。
農作物をもっとアピールして買える場所を増やしてほしい。
特産品や観光の駅等で稲美町の魅力を広めていただければと考えます。
何か全国発信できる、THE 稲美町！的なブランドの商品を考え、創造する。観光名所的な場所を設けるとか。丹波の黒豆、明石の玉子焼き、小野のひまわり公園、三木のホースランド、稲美の○○！など、メジャーになるような何かを。

（６）事業所への支援（経済的支援、相談窓口の設置など）

意見内容
オンリーワン企業の育成。人材提供や技術支援の相談窓口がほしい。特に人口減で人材確保が難しい中、外国人雇用は避けて通れない問題。彼等を雇用する際、例えば町が住居のあっせんや友達作りなど積極的にサポートしてほしい。
企業に対する税金を低くして欲しい。工事量を増やして欲しい。
コロナ禍の現在、家賃補助等の支援が欲しい。専業存続と従業員の維持のため、お願いします。
製造業の積極的支援。
稲美町で、企業のヒアリングをして、今何を必要としているかを確認し、アドバイス等をしてもらえたら良い。

（７）ゴミ処理について

意見内容
事業系ゴミの処理が負担になっています。規制を緩めて欲しい。
事業所ごみ袋を 90ℓにしてほしい。（環境面、経費面にて）45ℓ分の価格が高い。
事業所向けゴミ袋の材質とサイズの検討をお願いします。まったく伸びない素材、事業所向けには小さすぎるサイズ。

（8）若者に対する支援について

意見内容
若者世代への厚遇。
ネット事業に長けた人材の育成に力を入れて欲しい。若者に対して住みながら働ける場所の提供(コワーキングスペース+居住機能)。
福田町長の時代、街づくりの提言をとの依頼があり、当時若者集まる街づくりをと提案。当時姫路『独協大学』がまだ進出していない時代、チャンスはあったと思われます。また、薬剤師の不足により、全国に薬科大学ができる時代に『若者が集まる街づくり』をと再度提案しました。今となっては遅きに失した感があります。残念です。

（9）教育について（学校教育の充実など）

意見内容
公立小・中学校の活動の幅を拡げ、親が「稲美町の小学校や、中学校に通わせたい。」と思うような施策を実施しないと、稲美町に住もうと思う人は増えないと思う。
人材育成、とりあえず会社に行けば給料が貰える時代はもう終わると思われるため、学校教育の中で考えて働くといったことを教えるべきではないか。町民・国民のレベルが上がれば、産業の振興や働くための環境整備、雇用の創出も自然と生まれるのではないか。会社が環境を作るが、会社を作っているのは雇用されている１人１人であることを意識すれば(経営陣が意識を教えられたら)社会はもっと変わるのでは。

（10）住宅環境の整備について

意見内容
継続的な住宅環境の整備。便利で楽しい町にして欲しい。
六分一も国岡のように開発して欲しい。住宅や店等も増やして欲しい。土山駅に近いので。人口が増えれば、稲美町ももっと便利で住みやすい町になると思う。それに伴い、企業や商店も増えていくと思う。

（11）アンケートについて

意見内容
アンケートを作成するだけでなく、実行して下さい。アンケート結果の発表を宜しくお願いします。

（12）その他

意見内容
稲美町で使える商品券の枚数をもっと増やしてほしい。応募しても希望枚数よりもいつも少なくて残念。
稲美って？何も知らない、語れない、もっと稲美の良いアピールポイントを発信して欲しい。
稲美町には土地があるけれど、人口増加を目標に家を建てる。稲美町に住みたい人をもっと受け入れなければならないと思います。人口減少が進むと雇用も無く、働く環境も整いません。まず、人口を増やすことだと思っています。稲美町に来てくれる人が集まる。それが大切だと考えます。
町民の意見をもっと聞く。
農福連携等､国の方針が出ているが労働力確保に動いても実際には作業所に進む人が多数なのが現状です。授業で農業の時間はあっても学内だけの取り組みで終わっているので､地域との連携を教えてもらいたい。関東の支援学校の就職率は高く、関西は低い。この違いは何かを含め施策の検討をして欲しい。
農業分野で仕事にあてる時間を増やしていく。消防、自治会、地域との付き合い関係の行事が多すぎて仕事の時間が奪われてしまう。農業はしたいが、田舎的な付き合いが多すぎると仕事として農業をする若者が減ってしまう。行政とのやりとりにおいても、FAX、電話等が連絡の手段になることが多いので、それも仕事の妨げになることがある。積極的にメール等を利用して欲しい。IT 化を徹底的に進めて欲しい。
無料 Wi-Fi 環境の整備。
本人の意志で商売を始めて継続しているので、町や役人が心配することではないし、まして町や行政に頼ることではないと思う。すべて自己責任である。当然の話である。